

# 老施協

JS-Weekly

No.818

発行 令和4年2月18日

編集 公益社団法人  
全国老人福祉施設  
協議会



老施協  
VISION 2035



首相官邸HPより

## 今週のポイント

- ▶ 全国老施協 養護・軽費・ケアハウス職員の給与改善について、基本的考え方を通知
- ▶ 厚生労働省 4月の社会福祉連携推進法人制度施行に向けて、「FAQ」第一弾を公表

## 国の一週間

国会	1/17~	第208回通常国会
(内閣) 官邸	2/10	新型コロナウイルス感染症対策本部 (第87回)
厚生労働省		

## 老施協の一週間

全国老施協	2/15	WEB開催	令和3年度経営リーダー養成塾 (第6回)
	2/15	WEB開催	第5回大会・フォーラム委員会
	2/15	WEB開催	第3回役員報酬検討特別委員会
	2/15	WEB開催	総務・組織委員会 (臨時開催)
	2/16	WEB開催	第10回正副会長・委員長会議 (拡大)
	2/18	WEB開催	21世紀委員会カントリーミーティング (関東ブロック)

## 今週のトピックス

厚労省が、養護・軽費・ケアハウスの職員の給与改善について考え方を自治体に通知 ▶ P.2

全国老施協 正副会議で「ICTを活用した介護現場の将来像」について講演 ▶ P.3

全国老施協のHPで自然災害発生時における事業継続計画 (BCP) のひな形資料と計画作成参考動画を一般公開 ▶ P.4

厚労省、社会福祉連携推進法人の施行に向けて疑問点を整理 ▶ P.5

厚労省が理事会や評議員会開催における特例取り扱いを今年も適用 ▶ P.6

厚生労働省が、新型コロナに感染した入所者の介護施設での入所継続に30万円支給 ▶ P.7

大阪府・京都府・兵庫県の介護職 一定の条件を満たせば濃厚接触でも業務可能に 厚労省が通知 ▶ P.8

新型コロナワクチン追加接種 厚労省が自治体向けオンライン説明会実施 施設関係者にも視聴を呼びかけ ▶ P.9

介護給付費分科会で「令和4年度介護報酬改定に関する審議報告」を公表 ▶ P.10

【コラム】認知症BPSDケアプログラムにおける取り組み実践事例④ ▶ P.11



ご意見・ご要望は  
こちらまで



公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

TEL 03-5211-7700 FAX 03-5211-7705

Mail js.jimukyoku@roushikyo.or.jp

URL https://www.roushikyo.or.jp

Twitter, Facebook, Instagram, LINEでも情報発信中!





特養

養護

軽費・ケアハウス

デイサービス

在宅・地域密着  
その他

グループホーム

厚生労働省

## 厚労省が、養護・軽費・ケアハウスの職員の給与改善について考え方を自治体に通知

老人保健措置費に係る支弁額等の改正の考え方及び改定の例について

### ポイント

- ① 職員1人当たり月額平均9,000円の賃金上げが適当
- ② 算定対象となる職員は「支援員・介護職員」が該当

### ▶ 養護・軽費・ケアハウス職員の処遇改善の基本的な考え方と改定の例を示す

養護・軽費・ケアハウスの職員の給与改善については、昨年12月24日に厚労省から、地方交付税措置がなされたことに関して自治体に対する技術的助言通知が発出されたが、このたびこの通知を補う事務連絡「老人保健措置費に係る支弁額等の改定の考え方及び改定の例について」が2月10日付で発出された。

これを受けて全国老施協では、この通知を、下記のような要約を付した上で会員あて送付した。

#### 【事務連絡のポイント】

- 養護・軽費等に勤務する職員の処遇改善は、介護職員処遇改善支援補助金と同様の考え方や水準となるものと考えられる。
- 職員（常勤換算）1人当たり月額平均9,000円の賃金引き上げに相当する額が適当である。
- 算定対象となる職員は「支援員・介護職員」が該当する。
- 「特定施設入居者生活介護」の指定を受けている養護・軽費等の場合、介護職員処遇改善支援補助金の算定対象となる介護職員については除外する。
- 「支援員・介護職員」以外の職員にも処遇改善の原資を分配することは、各施設の判断で可能である。
- 増額する費目について、「一般事務費」（養護）または「サービスの提供に要する基本額」（軽費等）を増額することが基本であると考えられるが、「処遇改善加算」などの加算の細目を新設して増額分を盛り込むことも考えられる。
- 基本的には職員1人当たり月額9,000円分の増額が必要であり、それを入所者1人当たりの措置費・事務費でみたときに、どの程度増額するべきかを考える。

(参考資料：<https://www.roushikyo.or.jp/?p=we-page-menu-1-2&category=19325&key=21767&type=content&subkey=416085>)



ご意見・ご要望は  
コチラまで



公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

TEL 03-5211-7700 FAX 03-5211-7705

Mail [js.jimukyoku@roushikyo.or.jp](mailto:js.jimukyoku@roushikyo.or.jp)

URL <https://www.roushikyo.or.jp>

Twitter, Facebook, Instagram, LINEでも情報発信中!





特養

養護

軽費・ケアハウス

デイサービス

 在宅・地域密着  
その他

グループホーム

全国老施協

## 全国老施協 正副会議で「ICTを活用した介護現場の将来像」について講演

第10回正副会長・委員長会議（拡大）

### ポイント

- ① 千葉商大・齋藤香里氏がフィンランドの事例などを説明
- ② 人員基準緩和をめぐる議論の動向を報告

#### ▶ 新型コロナ対応 看護師による電話相談事業を開始

全国老施協は2月16日、「第10回正副会長・委員長会議（拡大）」をオンラインで開催した。

平石朗会長は開会挨拶で、2月14日から感染症について高い専門性を有する感染管理認定看護師、感染症看護専門看護師による電話相談事業をスタートしたことを報告。「保健所が手一杯になっているなか、高齢者福祉施設を支援するために始めた。日本看護協会の支援によるもので、他団体と手を携えてこうした取り組みを行えることを喜んでいる」と述べた。

次に、参議院議員のそのだ修光常任理事が情勢報告を行い、規制改革推進会議で進められている人員基準緩和をめぐる議論や、高齢者福祉施設で新型コロナのクラスターが発生した場合の国による支援の動向、高齢者施設従事者へのワクチン3回目接種の状況などについて、要望活動の内容を交えて報告した。

#### ▶ ICT活用がもたらす介護現場の将来像について意見を交換

この日は、千葉商科大学商経学部教授の齋藤香里氏による講演「ICTを活用した介護現場の将来像について」が行われた。

齋藤氏は以前より、業務効率化の必要性を踏まえたうえで、エッセンシャルワーカーの労働環境の改善、賃上げ、社会的な価値観の変革の必要性を訴えている。

講演で齋藤氏はフィンランド・ヘルシンキ市での遠隔介護の概要を報告したほか、ICT活用による高齢者福祉の質の向上・業務効率化による介護現場の将来像の展望について持論を述べた。

ヘルシンキ市の取り組みについては、市のサービスセンターによる電話相談サービス、服薬支援機器を利用した投薬管理、タブレット端末を利用した薬物投与の監視などを紹介。「人の移動のない遠隔介護により訪問介護の回数が削減され、12億円のコストカットとなっている。車の利用が減ることで、地球環境にも優しい」と、その効果を説明した。

ICT活用による高齢者福祉の質の向上・業務効率化による介護現場の将来像については、介護記録の自動入力や、近隣地域の訪問介護事業者が利用者を共有することで移動コストを抑えるシステムの有効性を強調した。そのほか、高齢者がタブレット端末に話す抵抗感をなくすために、黒電話を組み合わせて効果を上げた事例や、個室のドアの横にガラスケースを設置し、そこに入居者お気に入りアイテムを入れて自分の部屋の目印にしているオランダの介護施設の事例など、介護現場で役立つちょっとしたアイデアも紹介した。講演後の意見交換・質疑では、「在宅での遠隔介護の取り組みは非常に参考になった。独居高齢者が増えていくなか、日本でもこうしたサービスは重要になってくる」などの意見が出た。



(参考資料：<https://bit.ly/3oJhsLk>)



ご意見・ご要望は  
こちらまで



公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

TEL 03-5211-7700 FAX 03-5211-7705

Mail [js.jimukyoku@roushikyo.or.jp](mailto:js.jimukyoku@roushikyo.or.jp)

URL <https://www.roushikyo.or.jp>

Twitter, Facebook, Instagram, LINEでも情報発信中!



全国老施協

## 全国老施協のHPで自然災害発生時における事業継続計画（BCP）のひな形資料と計画作成参考動画を一般公開

### ポイント

- ① 事業継続計画（BCP）の記載例を掲載
- ② BCP作成のポイント動画をわかりやすく解説

### ▶ 災害への備えとして、無料動画と資料を参考にBCPの作成を

全国老施協は、自然災害発生時における事業継続計画（BCP）について、事業継続に必要な事項を定めたひな形資料と、作成のポイントを解説する動画をホームページで一般公開している。

事業継続計画（BCP）は、自然災害や感染症の拡大などに適切に対応しつつ事業を継続するための準備として重要度は増しており、令和3年度介護報酬改定において策定が事業者には義務づけられた（令和6年3月31日までは努力義務）。

そこで全国老施協は、BCPの記載例を示したひな形資料と、作成のポイントを解説する動画を作成。ホームページで公開し、無料で視聴できるようにしている。解説動画の講師は、びわこ学院大学学部長でリスクマネジメントを専門にする一般財団法人鳥野財団代表理事・鳥野猛氏が務めている。

（参考資料：<https://www.roushikyo.or.jp/?p=we-page-menu-1-2&category=19325&key=21767&type=content&subkey=415850>）

上記優先する事業のうち、優先する業務を決定する。

優先業務	夜間職員のみ (夜間)	出勤 30%	出勤 50%	出勤 70%	出勤 90%
業務基準	職員・入所者の 安全確認のみ	安全と生命を守る ため、必要最低 限度 (※要確認)	食事、排泄中心、 その他は休止ま たは縮小	一部休止、減と するがほぼ通常 に近付ける	ほぼ通常どおり
食事提供	休止	備蓄メニューの 準備	飲料水、栄養補 助食品、防災備 蓄食等	炊き出し、光熱 水復旧範囲で調 理再開	炊き出し、光熱 水復旧範囲で調 理再開
食事介助	応援体制が整う まではなし	必要者に介助	必要者に介助	必要者に介助	ほぼ通常どおり
口腔ケア	応援体制が整う まではなし	必要者はうがい	必要者はうがい	適宜介助	ほぼ通常どおり
水分補給	応援体制が整う まではなし	自立者にはベッ トボトルで給 水、必要者に 介助	自立者にはベッ トボトルで給 水、必要者に 介助	自立者にはベッ トボトルで給 水、必要者に 介助	復旧状況を見て 通常体制
入浴介助	原則中止	適宜清拭を実施	適宜清拭を実施	適宜清拭を実施	光熱水が復旧し たい入浴
洗顔	休止	休止	必要者は清拭 を実施	必要者は清拭 を実施	ほぼ通常どおり
排泄	必要な方のみ紙 オムツ使用	紙オムツを利用	紙オムツと適宜 拭拭	ほぼ通常どおり	ほぼ通常どおり
機體訓練	休止	休止	適宜、褥瘡・拘 縮予防実施	褥瘡・拘縮予 防実施	ほぼ通常どおり
清掃	休止	汚れた箇所のみ	感染対策による 拭拭	感染対策による 拭拭	ほぼ通常どおり
洗濯	休止	ディスプレイ	必要最低限	必要最低限	ほぼ通常どおり
シーツ交換	休止	汚れが目立つと ころ	罹患者を優先	順次、部分的に 交換	ほぼ通常どおり
離床更衣	休止	離床回数減実施 要衣汚れた場合 のみ	離床回数減実施 要衣汚れた場合 のみ	離床回数減実施 要衣汚れた場合 のみ	通常体制
バイタル	休止	状況に応じて	全員の健康チ ェック開始	全員の健康チ ェック。 必要時受診。	全員の健康チ ェック。 必要時受診。
医療	トリアージ、応 急処置	応急処置	応急処置	救急搬送、配 薬	ほぼ通常通り
感染対策	状況に応じて 同合せ	状況に応じて 対応記録	消毒薬の配置	消毒薬の配置	ほぼ通常どおり
夜勤	在所職員対応	在所職員対応 夜勤計画作成	夜勤時間延長 夜勤開始	夜勤時間延長 夜勤開始	ほぼ通常どおり
緊急入浴	休止	休止	休止	拭拭を見て検討	検討
飲料水の 調達	防災備蓄品の 確認	受水槽の容量 確認	受水槽の容量使 用終了	給水車用ポリ容 器設置	給水車用ポリ容 器設置
バックアップ 供給	職員自家用車から の電気供給確認	非常用自家発電 機確認	充電機・蓄電池 の運転確認	充電機・蓄電池 の運転	備蓄器材対応
ボランティア (地域住民含む)	-	関係機関と連絡 調整	派遣要請	受入れ準備	受入れ



ご意見・ご要望は  
こちらまで



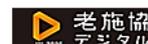
公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

TEL 03-5211-7700 FAX 03-5211-7705

Mail [js.jimukyoku@roushikyo.or.jp](mailto:js.jimukyoku@roushikyo.or.jp)

URL <https://www.roushikyo.or.jp>

Twitter, Facebook, Instagram, LINEでも情報発信中!



厚生労働省

## 厚労省、社会福祉連携推進法人の施行に向けて疑問点を整理 「社会福祉連携推進法人制度の施行に向けたFAQ（NO.1）」について

- ポイント**
- ① 制度の目的など53項目の「よくある質問」に回答
  - ② 制度のポイントやインタビューをまとめた動画も公開

### ▶ FAQや関連動画で社会福祉連携推進法人制度を周知

厚生労働省は2月10日、「社会福祉連携推進法人制度の施行に向けたFAQ（NO.1）」を自治体関係者に事務連絡した。4月1日の社会福祉連携推進法人制度の施行に向け、認定所轄庁や社会福祉法人等の関係者から質問のあった事項を「よくある質問（FAQ）」として整理しており、関係者への周知を依頼している。

FAQでは、制度創設の目的などの総論から、災害時支援業務関係、経営支援業務関係、貸付業務関係、人材確保等業務関係、認定所轄庁関係、社員関係などに関する計53の項目について解説している。

また、厚生労働省は昨年12月21日にオンラインで「社会福祉連携推進法人制度の施行に向けた自治体説明会」を行っており、その動画をHPで公開し、社会福祉連携推進法人設立の参考にするよう呼びかけている。

(参考資料：[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_20378.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_20378.html))

(参考資料：<https://www.mhlw.go.jp/content/12000000/000898044.pdf>)

施設アセスメントシート

1. 研修・人材育成 2. 会議・記録・情報共有

多職種

理念 → 役職者 → ケアチーム・リーダー → 多職種の職員 → ケアの質

家族・ボランティア

3. 組織性・組織機能 4. 設備・環境 5. 職員配置 6. 暮らしの支援

コンプライアンス・リスクマネジメント・マナー等社会性・人権

青森県 Aomori

(福)清隆厚生会  
3. 中泊町 (中泊) 1. 鶴田町 (鶴田) 2. 東通村 (東通)

こども園(こどもま) NOGIこども園(本部) こども園(ひがしどお)

中泊の郵便局近く 東は10度地・津軽湾沿い 南は道庁南隣(会津道)

九戸町 法人3施設で経営士 協力体制(1年)

出典：厚生労働省



ご意見・ご要望は  
コチラまで



公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

TEL 03-5211-7700 FAX 03-5211-7705

Mail [js.jimukyoku@roushikyo.or.jp](mailto:js.jimukyoku@roushikyo.or.jp)

URL <https://www.roushikyo.or.jp>

Twitter, Facebook, Instagram, LINEでも情報発信中!





特養

養護

軽費・ケアハウス

デイサービス

在宅・地域密着  
その他

グループホーム

厚生労働省

## 厚生労働省が理事会や評議員会開催における特例取り扱いを今年も適用

新型コロナウイルス感染症の発生に伴う社会福祉法人の運営に関する取扱いについて  
(その6)

### ポイント

- ① 理事会・評議員会の「対面」は電話やインターネットも可
- ② 書類の備え置き、閲覧、届出などの時期も柔軟に対応

#### ▶ 昨年2月12日付事務連絡と同様の取扱いが可能に

厚生労働省は2月10日、新型コロナウイルス感染症の発生に伴う社会福祉法人の運営に関する取扱いを自治体関係者に事務連絡した。現在のまん延状況を踏まえ、令和3年度決算期の社会福祉法人の運営等については、昨年2月21日付事務連絡「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う社会福祉法人の運営に関する取扱いについて（その4）」と同様の取扱いとし、引き続き柔軟に対応するよう求めている。

#### ▶ 理事会・評議員会の開催が年度内に困難な場合は、可能になり次第でOK

理事会や評議員会の開催については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大抑制の観点から、やむを得ず年度内の開催が困難な法人については、可能になり次第、開催すればよいとしている。「対面」による開催が必要とされている点については、電話機のマイクおよびスピーカー機能、インターネットの利用などが含まれ、必ずしも会議室で会議を行う必要はないことを法人に周知することとしている。理事会・評議員会決議の省略については、全員から事前の同意の意思表示がされたときは、決議があったものとみなされる。

事業計画書や収支予算書の決議または承認に関する理事会や評議員会の開催についても、同様の取扱いとなる。毎会計年度終了後3か月以内に作成することとされている貸借対照表や収支計算書、財産目録、社会福祉充実計画などの書類については、原則として法人に備え置き、閲覧または届出を行わなければならないが、職員の出勤抑制などにより作業に支障が生じる場合には、支障がなくなり次第、履行すればよいとしている。

所轄庁の指導監査については、新型コロナウイルス感染症のまん延状況を踏まえつつ、延期を含め、適切に判断するよう要請している。

(参考資料：[https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/3020/shafuku-oshirase/documents/shafuku\\_corona6.pdf](https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/3020/shafuku-oshirase/documents/shafuku_corona6.pdf))

出典：厚生労働省



ご意見・ご要望は  
コチラまで



公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

TEL 03-5211-7700 FAX 03-5211-7705

Mail [js.jimukyoku@roushikyo.or.jp](mailto:js.jimukyoku@roushikyo.or.jp)URL <https://www.roushikyo.or.jp>

Twitter, Facebook, Instagram, LINEでも情報発信中！



厚生労働省

## 厚生労働省が、新型コロナに感染した入所者の介護施設での入所継続に30万円支給

### ポイント

- ① 現行分とあわせて最大30万円を追加補助
- ② 要件はまん延防止等重点措置区域等の施設等



厚生労働省老健局の担当者に要望内容の説明をおこなう、そのだ修光常任理事（参議院議員）

### ▶ そのだ修光常任理事（参議院議員）の要望が実る

厚生労働省は令和4年2月17日、新型コロナウイルス感染症に対応する介護現場への支援の更なる拡充として「高齢者施設等における施設内療養に関する更なる追加的支援策等について」を通知しました。これまで施設内療養者に対する補助は1名につき1万円/日（最大15万円）でしたが、今後は**施設内療養者1名につき1万円/日が追加補助（現行分とあわせて最大30万円）**されます。なお、**現行15万円の補助を申請済み施設等においても、再申請が可能**です。

（※要件：緊急事態措置・まん延防止等重点措置の対象区域の施設等であって療養者数が一定数を越える場合）

今回の追加支援策の拡充は、この状況に献身的に対応する全国の介護現場の窮状を、そのだ修光常任理事（参議院議員）が把握し、繰り返し訴え続けたことで実現したものです。

概要は「別添 施設内療養を行う介護施設等への更なる追加補助について」をご確認願います。

#### ●参考URL

- ・【JS-Weekly(号外)R3-3】 (<https://onl.la/ATLbzTH>)
- ・別添 施設内療養を行う介護施設等への更なる追加補助について (<https://onl.la/u3FUXak>)
- ・高齢者施設等における施設内療養に関する更なる追加的支援策等について（令和4年2月17日） (<https://onl.la/t9b7yz5>)
- ・「高齢者施設等における施設内療養に関する更なる追加的支援策等について」の周知について（令和4年2月17日） (<https://onl.la/ciYnAm8>)
- ・施設内療養を行う介護施設等への更なる追加補助の詳細が示された実施要綱「令和3年度新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業実施要綱」 (<https://www.mhlw.go.jp/content/000899251.pdf>)



ご意見・ご要望は  
こちらまで



公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

TEL 03-5211-7700 FAX 03-5211-7705

Mail [js.jimukyoku@roushikyo.or.jp](mailto:js.jimukyoku@roushikyo.or.jp)

URL <https://www.roushikyo.or.jp>

Twitter, Facebook, Instagram, LINEでも情報発信中!

老施協.com



老施協  
デジタル



厚生労働省

## 大阪府・京都府・兵庫県の介護職 一定の条件を満たせば濃厚接触でも業務可能に 厚労省が通知

介護従事者である濃厚接触者に対する外出自粛要請への対応について

### ポイント

- ① 沖縄県に適用していた取り扱いを2府1県にも拡大
- ② 業務継続のための要件および注意事項を詳細に提示

#### ▶ 高齢者施設で必要なサービスが提供されるための緊急的な対応

厚生労働省は2月17日、介護従事者が新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者となった場合の外出自粛要請への新たな対応を、大阪府・京都府・兵庫県に事務連絡した。高齢者施設への周知徹底を依頼している。

現在、濃厚接触者には8日間の待機期間（介護職などは一定の要件を満たせば5日間）が設定されているが、医療従事者についてはワクチンを2回接種済みであるなどの要件を満たす場合、医療に従事することが可能となっている。

これを踏まえ、新規感染者数が高止まり傾向にある大阪府・京都府・兵庫県に対して、陽性者または濃厚接触者が入所している高齢者施設等において必要なサービスが提供されるための緊急的な対応として、濃厚接触者となった職員は一定の要件および注意事項を満たしていれば、介護に従事することを可能とするとした。

対象となる施設は下記のとおり。

- ・特別養護老人ホーム
- ・介護老人保健施設
- ・介護医療院
- ・介護療養型医療施設
- ・認知症グループホーム
- ・養護老人ホーム
- ・軽費老人ホーム
- ・有料老人ホーム
- ・サービス付き高齢者向け住宅
- ・短期入所生活介護事業所または短期入所療養介護事業所

同様の措置をすでに沖縄県に適用しており、今回、関西の2府1県に拡大した。

#### ▶ 「応援職員確保が困難」「無症状で当日に陰性を確認」などの要件が必要

必要となる要件は以下のとおり。

- 新型コロナウイルス感染症患者または濃厚接触者が入所している高齢者施設等で、外部からの応援職員の確保が困難な施設に従事する介護職員であること
- 他の介護職員による代替が困難な介護職員であること
- ワクチンを2回接種済みで、2回目の接種後14日間経過した後に濃厚接触者と認定された人であること
- 無症状で、毎日業務前にPCR検査または抗原定量検査（やむを得ない場合は抗原定性検査キット）を行い、陰性が確認されていること
- 濃厚接触者である介護職員の業務を所属の管理者が了解していること
- 感染制御・業務継続支援チームなどにより、▽当該介護職員の健康状態（無症状であること）の確認、▽当該介護職員への適正な検査、▽施設内の感染拡大を防ぐための対策（防護具の着脱、ゾーニング、衛生管理など）を事業所として実施する体制が確認されていること

このほか、ワクチン接種済みであっても感染リスクを完全に予防することはできないことを十分に認識すること、感染した場合にリスクが高い入所者への介護の際には格段の配慮をすること、など詳細な注意事項も示されている。



ご意見・ご要望は  
こちらまで



公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

TEL 03-5211-7700 FAX 03-5211-7705

Mail js.jimukyoku@roushikyo.or.jp

URL <https://www.roushikyo.or.jp>

Twitter, Facebook, Instagram, LINEでも情報発信中!





特養

養護

軽費・ケアハウス

デイサービス

在宅・地域密着  
その他

グループホーム

厚生労働省

## 新型コロナワクチン追加接種 厚労省が自治体向けオンライン説明会実施 施設関係者にも視聴を呼びかけ

### ポイント

- ① 接種促進策や自治体の取り組み状況を説明
- ② 収録動画をアーカイブ配信

### ▶ 3回目接種のさらなる推進に向けて、現状を説明

厚生労働省は、高齢者施設における新型コロナワクチン接種に係る自治体向け説明会をオンラインで開催する。高齢者施設における追加接種のさらなる推進に向けて、接種促進策や自治体の取り組み状況を説明するもの。対象は、自治体関係者および高齢者施設担当者。

説明会は2月18日（金）に行われるが、当日の収録動画を別途、視聴できるようアーカイブ配信も行う。

アーカイブ配信（過去の説明会等資料も閲覧可）

<https://www.his-j.com/corp/contents/vaccine/>



ご意見・ご要望は  
コチラまで



公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

TEL 03-5211-7700 FAX 03-5211-7705

Mail [js.jimukyoku@roushikyo.or.jp](mailto:js.jimukyoku@roushikyo.or.jp)

URL <https://www.roushikyo.or.jp>

Twitter, Facebook, Instagram, LINEでも情報発信中！





特養

養護

軽費・ケアハウス

デイサービス

在宅・地域密着  
その他

グループホーム

厚生労働省

## 介護給付費分科会で「令和4年度介護報酬改定に関する審議報告」を公表

### ポイント

#### ①月額平均9,000円引上げ措置を受け、政府の提案等について議論

#### ▶令和4年度介護報酬改定に関する基本的な考え方を取り纏め

厚生労働省は、2月7日に開催された「第207回社会保障審議会介護給付費分科会」における委員の意見を受け、審議報告の取り纏めを行い、18日に公表した。

当該審議報告取り纏めは、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」（令和3年11月19日閣議決定）及び政府の令和4年度予算編成過程において、介護・障害福祉職員を対象に、収入を3%程度（月額平均9,000円相当）引き上げるための措置を講じることが決定されたことを受けて、当該分科会で政府の提案等について議論されてきたが、この議論に基づき、令和4年度介護報酬改定に関する基本的な考え方を取り纏めた。審議報告の詳細については、参考資料を参照いただきたい。

（参考資料）

- ・令和4年度介護報酬改定に関する審議報告 (<https://is.gd/34AOec>)
- ・【見え消し】令和4年度介護報酬改定に関する審議報告 (<https://is.gd/yccjyY>)
- ・職員の処遇改善ポータルページ (<https://www.roushikyo.or.jp/index.html?p=we-page-menu-1-3&category=19326&key=25451&type=contents>)



ご意見・ご要望は  
コチラまで



公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

TEL 03-5211-7700 FAX 03-5211-7705

Mail [js.jimukyoku@roushikyo.or.jp](mailto:js.jimukyoku@roushikyo.or.jp)

URL <https://www.roushikyo.or.jp>

Twitter, Facebook, Instagram, LINEでも情報発信中！



認知症の人のBPSD（行動・心理症状）は問題行動ではなく、とても大切なメッセージとして捉え、関わる職員が視点を揃えてPDCAサイクルでケアを実践することが求められています。

全国老施協では、その認知症ケアの実践に効果的な手法である「BPSDケアプログラム」を推奨し、その普及・啓発に取り組んでいます。そこで、実際にこの「BPSDケアプログラム」を取り組まれている事業所の皆さんの声をお届けさせていただきます。



老施協総研運営委員会  
委員長 尾関 英浩

### ● 第4回コラムでは

本号では、前回（Vol.817（2022年2月10日））掲載コラムでの、「①NPI評価尺度を用いたBPSDの『観察・評価』」の次のステップとなる、「背景要因（ニーズ）の分析」について記載しております。

### ②背景要因（ニーズ・苦痛）の分析



DEMBASE

### ②背景要因（ニーズ・苦痛）の分析

#### 認知症の人の苦痛の原因となりやすいチェックリスト

- ・ 23項目
- ・ 身体的苦痛
- ・ 精神的苦痛
- ・ ケアスタッフで話し合っ  
て  
評価を行う
- ・ 「はい」→ ニーズがある  
「いいえ」→ なし

行動の背景要因		
項目		コメント(参考)
【身体的ニーズ】		
食事の摂取量が不足している	はい・いいえ	不安や徘徊がある場合は、より多くのエネルギー摂取が必要になります。
水分摂取量が不足している	はい・いいえ	発熱などがあるときは、普段よりも多めに水分補給が必要です。
発疹や痒みがある	はい・いいえ	身体のごく多種こつとしたり、やたらと衣服の上から触ったりしていませんか？
排便の問題がある	はい・いいえ	便秘ではいいますか？排便の状況を日記につけるなどして観察してみましょう。

パーソンセンタードケア：  
その人の生活史や価値を尊重したケア

DEMBASE

### ● 「背景要因（ニーズ・苦痛）の分析」について

このステップは、最も重要なステップとなります。

ここでは、行動・心理症状の背景に繋がりがやすい23項目のチェックリストについて、チームで確認していきます。

回答が「はい」となれば「ニーズがある」ということになり、「いいえ」となれば「ニーズはない」という判断になります。

このチェックリストについて確認していく際に、複数「はい」にチェックがついた場合、その中でも、どの項目がその方の苦痛の原因として大きいのか、優先順位について議論していきますが、この優先順位をつけ、絞り込んでいくプロセスが重要となり、この絞り込んだニーズに対してどのようなケア計画を立てていくのかという部分が、次のステップ3になります。

#### 背景要因の分析

【身体的ニーズ】		【姿勢】
食事の摂取量が不足している	体温の異常がある	うまく座れない、2時間以上姿勢を変えないなどの問題がある
水分摂取量が不足している	脈拍に異常がある	
発疹や痒みがある	血圧に異常がある	
排便の問題がある	血糖値に異常がある	【環境】
排尿の問題がある	呼吸が苦しそう	明るさが足りない
眠気や疲労がある	身体の痛みがありそう	寒い・暑い
視覚の問題がある	身体の不快感がありそう	家具などが動きの妨げになっている
聴覚の問題がある	処方薬の見直しが必要でない	身体拘束されている
		他の利用者・周りの人とトラブルがある
		他の利用者・周りの人と交流がない



## 認知症BPSDケアプログラムにおける取り組み実践事例④

### 「あなたに伝えたいこと」

BPSDケアプログラムインストラクター 大橋 義男

昭愛会 水野記念病院 水野指定居宅介護支援事業所 主任

何かに困っているあなたが予期せぬ行動をとると、私は「問題行動」を起こす人という目であなたを見ていました。そして、私はその行動を抑制することばかりを考えていました。きっと、あなたの行動は支援者の困りごとになると私はイメージしていたからだと思います。その考えが当たり前になっていたことで、あなたではなく行動だけを見るのが私の習慣になっていたと思います。

しかし、あなたの行動を「行動・心理症状」という視点で考えるようになってからは、あなたの行動には意味があると思えるようになりました。「行動・心理症状」とは“周囲の不適切なケアや身体の不調や不快、ストレスや不安などの心理状態が原因となって現れる症状”のようです。それがわかったとき、問題があったのは私の方だったと気づくことができました。あなたは、認知症になったことであなたらしく脳が働かなくなり、自分の感じていることをうまく表現できなくなってしまったのです。周囲から見れば「なんで？」と思う行動には、あなたが不快に感じている「何か」が潜んでいたんだと私は理解できるようになりました。

私は「行動・心理症状」の本質がわかったことで、あなたの行動を「観て」その思いを「想像する」ようになりました。そして、あなたが安心する接し方を「創造」してから、あなたを「看られる」ようになってきました。

私は、認知症ケアプログラムに出逢うまであなたと接することを怖がっていました。きっと、私にあなたを理解しようという気持ちが欠けていたからだと思います。だけど、今は違います。私はあなたを受け入れる準備ができています。

～ 私たちが出来ることは、未来のあなたへの準備です。私たちが行動に移すことで未来のあなたである私たちが安心して過ごせるときを迎えられるはず。多くの人に認知症ケアプログラムを活用していただくことで、認知症介護の未来は明るくなると信じています。～

#### ★「認知症BPSDケアプログラム実践報告動画配信」について

BPSDケアプログラムについて理解を深めるとともに、今後の認知症ケアのさらなる向上を目的として、3月中旬を目途に、BPSDケアプログラムを取り組まれている施設・事業所の方より、取り組みの成果や効果等、実践事例についてご報告いただく動画を本会ホームページで配信いたします。詳細につきましては、別途お知らせいたします。

告知・依頼

告知	2/18	全国老施協	全国老施協 新型コロナウイルス感染症 電話相談事業 ←New!
	2/18	全国老施協	令和3年度 社会福祉法人会計基準実践的決算講習 開催要項 ←New!
	2/18	全国老施協	令和3年度 管理者向け定着研修 開催要項 ←New!
	2/10	全国老施協	全国老人福祉施設協議会 令和3年度 自然災害発生時における事業継続計画（BCP）ひな形と参考動画の公開
	12/24	全国老施協	老施協チャンネル 介護の魅力を15秒以内で伝えてみませんか ショート動画を募集中！
	12/3	全国老施協	令和3年度 社会福祉法人会計基準実践的基礎講習 開催要項
	11/19	全国老施協	令和3年度 全国老人福祉施設研究会議 鹿児島会議
	10/1	全国老施協	第78回全国老人福祉施設大会 山口大会 オンライン開催
	原則 毎週水曜	相談支援	法律相談窓口（JS リーガルサポート）原則として、毎週水曜日（祝祭日を除く）の14：00-17：00（03-5215-7725）
	依頼	1/21	厚生労働省
1/21		厚生労働省	介護の生理学研究会 聴講者募集中



ご意見・ご要望は  
コチラまで



公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

TEL 03-5211-7700 FAX 03-5211-7705

Mail js.jimukyoku@roushikyo.or.jp

URL <https://www.roushikyo.or.jp>

Twitter, Facebook, Instagram, LINEでも情報発信中！



# 全国老施協 新型コロナウイルス感染症 電話相談事業

- 施設等の感染症への対応方法や感染対策に関するお困りごとについて、感染症に高い専門性を有する看護師※に直接電話で相談ができます。(相談料は無料)
- 新型コロナウイルス感染症が発生した又はその疑い例が発生した施設・事業所が対象です。
- 月曜～金曜 10～12時、13～16時(5時間) ※土日祝日除く

## ②感染症が専門の看護師から直接電話します



(一次受付)



(まとめて依頼)



## ①電話相談の申込み(一次受付)

- 保健所に相談しても、なかなか指示がいただけない。
- 濃厚接触者が増えるにつれ、ゾーニングが困難になってきた。
- 何か気を付けることがあればアドバイスがほしい。 など

### 電話相談の一例

#### (相談内容)

洗濯室で120名分洗濯している状況ですが、現在感染者の衣類は3日ビニール袋で保管し3日を過ぎたものから順次洗濯するようにしています。手間がかかる事と、保管場所の確保が難しくなっているので何か良い方法はないですか。

#### (電話でのご回答)

- 感染者と非感染者の洗濯物を分ければ洗濯は可能。感染性のものが大量におかれている状況はリスクも高く、対応職員の手間も増えるため、3日間置かずに洗濯をしてもよい。感染者の衣類を扱うときにはPPEを必ず着用する。
- 日本感染症学会の家庭内感染対策資料を参考に、汚染物質はあらかじめ除去した後に、普通の洗剤で多めの水を利用して洗濯する。衣類の乾燥は80℃10分以上が可能な機器が施設にあったため、そちらの機器を利用してしっかり乾燥させる。

電話相談の申込み(一次受付)は全国老施協HPからお願いします

<https://bit.ly/3oJhsLk>

令和3年度



# 社会福祉法人会計基準実践的決算講習 開催要項

正しい会計データに基づく適正な運営を！

～〈改正社会福祉法及び省令・社会福祉法人会計基準対応〉と  
決算処理の一連の流れ～

## —開催趣旨—

本会では、社会福祉法人の行う介護保険事業の基礎的な会計知識と月次の会計処理を学んでいただくため、「社会福祉法人会計基準実践的基礎講習」を令和3年12月より配信しております。

今回の決算講習は、基礎講習で学んだ知識をもとに、当該事業年度の決算書を作成するための一連の手続きやポイントを学ぶほか、平成29年度より施行された改正社会福祉法に基づく決算承認手続とそのスケジュール、法人に求められる「事業運営の透明性の向上」（備置きと閲覧及び情報の公開等）、「財務規律の強化」（社会福祉充実計画の承認等）のポイントについて、会計基準省令、関連通知等から学び、併せて社会福祉充実残額算定の仕組みを知ることから、その意味と対策を考える基礎的理解を進めます。社会福祉法改正と同時に省令となった社会福祉法人会計基準による決算処理の正しい理解と運用にむけ、本講習会を開催いたします。

## 研修動画 Web 配信のお知らせ

本会研修委員会では昨今のコロナウイルス流行を鑑み、このたびの本研修の現地開催を中止し、インターネットによる動画配信形式にて研修を行うことといたしました。インターネット環境と動画を閲覧できる端末があれば、**期間内は何度でもご視聴いただける研修**となっておりますので、是非この機会に Web での受講をご検討ください。

1 **主催** 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

2 **開催形式** 動画配信

- ・ お申込者の方には申込後3営業日以内を目処に、受講案内と請求に関するご連絡をお送りいたします。
- ・ 配信予定日以降、受講費のご入金が確認できた方から研修動画視聴のための URL をご連絡いたします。

3 **申込期間** 令和4年2月15日（火）～令和4年5月6日（金） 予定

4 **配信期間** 令和4年2月18日（金）～令和4年5月13日（金） 予定

5 **受講費** 会 員：8,000円 / 非会員：16,000円

6 **受講対象** 会計実務担当者、管理職員など

- ※日商簿記三級程度以上の知識のある方、または社会福祉法人会計の経験がある方が望ましい。
- ※税理士、公認会計士及びコンピューターシステム会社等の関係者の参加はご遠慮ください。

7 **申込方法** Web または FAX での申し込みが可能です。下記いずれかの方法でお申し込みください。

**Web 申込**

全国老施協ホームページの該当入力画面からお申し込みください。  
**(※全国老施協会員の方は、必ず会員ログインのうえご購入ください。)**  
申し込み締切日以降の変更・参加取消は、【10】問い合わせ先までご連絡ください。

**FAX 申込**

全国老施協ホームページより「参加申込書」をダウンロードし必要事項をご記入のうえ、FAXにてお申し込みください。変更・参加取消の際は「参加申込書」に上書き訂正の上、FAXにてご連絡ください。

※配信開始日以降の受講費のご返金は原則として対応いたしかねます。

※お申込後に取消のご連絡を頂いた場合、受講費のお振込は必要ありません。

## 8 プログラム

時間	内容
約 5 分	開会挨拶 公益社団法人全国老人福祉施設協議会
計約 6 時間	<p><b>I. 決算作業の流れと資産の確認・評価（約 90 分）</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 決算スケジュールの概要</li> <li>2. 資産の実在性確認と評価 (現金預金、有価証券、貯蔵品、事業未収金等、立替金・仮払金、前払金等、固定資産)</li> </ol> <p><b>II. 決算確認事項①（約 75 分）</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 負債科目の確認（未払金等、預り金等、借入金）</li> <li>2. リース会計</li> <li>3. 資金用途制限の確認</li> </ol> <p><b>III. 決算確認事項②（約 90 分）</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 減価償却費の計上と固定資産廃棄処理</li> <li>2. 国庫補助金等特別積立金</li> <li>3. 基本金の処理</li> <li>4. その他の積立金の考え方と会計処理</li> <li>5. 引当金（賞与引当金・徴収不能引当金・退職給付引当金）</li> <li>6. 決算確認事項まとめ（チェックポイント）</li> </ol> <p><b>IV. 計算書類・附属明細書の作成（約 90 分）</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 計算書類の体系</li> <li>2. 内部取引処理の注意点</li> <li>3. 計算書類の注記事項</li> <li>4. 附属明細書について</li> <li>5. 財産目録について</li> </ol> <p><b>V. 計算書類作成後の業務（約 75 分）</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 決算承認手続きの流れ</li> <li>2. 決算承認後のその他の手続き（資産変更登記・税務署への届け出）</li> <li>3. 社会福祉充実残額の算定</li> </ol> <p style="text-align: right;">株式会社川原経営総合センター 経営コンサルティング部門 統括補佐 森田 敏史 氏</p>

## 9 個人情報の保護について

お申込により知り得た個人情報（氏名、住所、連絡先等）については、個人情報保護法に基づき、研修運営業務（参加者の管理、参加者への連絡、請求書の送付等）以外には使用しません。

## 10 問い合わせ先

公益社団法人全国老人福祉施設協議会（担当：田中・中村・大和田）

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-1 塩崎ビル 7F

TEL：03-5211-7700 FAX：03-5211-7705

E-mail: js.kenshu@roushikyo.or.jp

URL：http://www.roushikyo.or.jp/ ※左記 URL より Web 申し込みが可能です。

**令和3年度 社会福祉法人会計基準実践的決算講習****受講申込書**

- ※ ご案内を確認の上、すべての項目にもれなくご記入又は○印をお付けください。
- ※ 会員番号がご不明の際は、全国老施協事務局までお問い合わせください。
- ※ お申込により知り得た個人情報（氏名、住所、連絡先等）については、個人情報保護法に基づき、研修運営業務（参加者の管理、参加者への連絡、請求書の送付等）以外には使用しません。
- ※

都道府県	会員有無	○印をおつけください⇒ 会員 ・ 非会員							
	会員番号								
施設名									
施設所在地 (受講案内送付先)	〒 ー		※郵便番号・住所は正確にご記入ください						
TEL					FAX				
フリガナ			視聴用 URL 連絡先 e-mail アドレス						
担当者氏名	役職又は職種		<p>※ メールアドレスの記入に誤りがあると、視聴用 URL のご案内が お手元に届かない可能性がございます。メールアドレスはブロック体で わかりやすくご記入ください。</p> <p>※ o(オー)と0(ゼロ)や - (ハイフン)と _ (アンダーライン)、 l (エル)と1 (イチ)等の区別が付くようご記入ください。</p>						
受講費用	会員 8,000円 ・ 非会員 16,000円								
備考欄	※FAXにてお申込みの方は内容に変更・取消が発生した場合は、その旨こちらにご記入の上再度FAXにてお送りください。								

**【問合せ先】**

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 事務局（担当：田中・中村・大和田）

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-1 塩崎ビル 7階

TEL：03-5211-7700 FAX：03-5211-7705 E-mail: js.kenshu@roushikyo.or.jp

URL：http://www.roushikyo.or.jp/ ※左記 URL より Web 申し込みが可能です。

**お申込締切日：令和4年5月6日（金）**



老 施 協

# 令和3年度 管理者向け定着研修 開催要項

## —開催趣旨—

介護施設では60.8%もの施設が「介護サービス従業員の不足を感じる」とする調査結果(介護労働安定センター 令和2年度「介護労働実態調査」より)が出ています。採用した介護人材の早期離職を防ぐ取り組みを推進し、事業所の安定運営・経営に寄与できるよう、階層別職員研修として、管理者・施設長を対象とした研修を開催いたします。本研修では、株式会社リクルート HELPMANJAPAN グループと連携し実施します。

## 研修オンライン開催のお知らせ

昨今の新型コロナウイルス流行を鑑み、このたびの本研修の実地開催を中止し、インターネットによるオンライン研修(ライブ配信および終了後のオンデマンド動画配信)にて実施いたします。インターネット環境とZOOMを利用できるカメラ付きパソコン端末をご用意ください。是非この機会にオンラインでのご受講をご検討ください。

## 1 主催

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

## 2 開催形式

### オンライン研修

### ライブ配信(定員50名)およびオンデマンド動画配信

(オンライン会議システム ZOOM を使用し一部演習形式)

- ・オンライン会議システムを用いたライブ配信(定員50名)では演習による事例検討等を行い、受講者各々の現状に沿った研修内容となります。
- ・ライブ配信における申込は先着順となっており、定員に達した場合申込締切期日前に締め切ることがあります。
- ・ライブ配信を録画し、研修翌日より動画配信を行う予定です。
- ・オンデマンド動画配信は配信期間内であれば、いつでもどこでも受講可能です。(録画動画の視聴となるため演習には参加できません。)
- ・お申込者の方には申込後5営業日以内を目処に、受講案内と請求に関するご連絡をお送りいたします。
- ・受講費のご入金を確認できた方から研修参加URLをご連絡いたします。

## 3 申込期間

### オンライン研修(ライブ配信およびオンデマンド動画配信)

令和4年1月27日(木) ~ 令和4年2月27日(日)

### オンデマンド動画配信のみ

令和4年1月27日(木) ~ 令和4年3月17日(木)

## 4 開催日時

令和4年3月1日(火) 13:00~16:00

(事前申込みを完了した方が対象)

## 5 配信期間

令和4年3月3日(木)以降 ~ 令和4年3月31日(木)

(事前申込みを完了した方が対象)

## 6 受講費

### オンライン研修(ライブ配信およびオンデマンド動画配信)

会 員 : 10,000円 / 非 会 員 : 15,000円

### オンデマンド動画配信のみ

会 員 : 5,000円 / 非 会 員 : 10,000円

## 7 受講対象

管理者・施設長

## 8 申込方法

Webでのお申し込みをお願いします。下記 URL からお申し込みください。全国老協協会員の方は、必ず会員ログインのうえご購入下さい。

### Web 申込

全国老協ホームページ (<https://www.roushikyo.or.jp/>) の該当入力画面からお申し込みください。2/22(火)以降の参加取り消しにつきましてはキャンセル料として受講費の全額を申し受けます。

※開催日以降の受講費のご返金は原則として対応いたしかねます。

※開催日1週間前までに申込み取消のご連絡を頂いた場合、受講費のお振込は必要ありません。

## 9 プログラム

介護人材の職場定着を進めるための人材の育成、従業員満足度を高めるための事例紹介、階層別のマネジメントポイント等の情報提供を行う講義型研修です。

時間	内容
13:00~16:00 ※途中休憩あり	開会挨拶 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会
	講演 講師 株式会社リクルート HELPMANJAPAN
	人材の確保・定着状況と職員間の人間関係構築の重要性
	従業員満足度を高めるための「4つの観点」と事例紹介
	職員のタイプ（特性）を知り、関わり方を考える
	面談アプローチ手法について
	各階層別の定着・マネジメントポイント
	演習（定着促進の取り組みについて）
	まとめ・アンケート

### 注意事項

- オンラインで開催しますので、以下の機器等をご用意ください。
  - ・パソコン及びウェブ用カメラ(オンライン会議システム ZOOM を使用できること)  
※タブレットやスマートフォンはご利用いただくことができません。
  - ・イヤホンマイク
  - ・インターネット通信環境
  - ・お部屋(グループワークを行うための環境が整えられること)
- お申込み者数が定員を超えた場合は、先着順とします。

## 10 個人情報の保護について

お申込みにより知り得た個人情報(氏名、住所、連絡先等)については、個人情報保護法に基づき、研修運営業務(参加者の管理、参加者への連絡、請求書の発送等)以外には使用しません。

## 11 問い合わせ先

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 (担当: 吉沢・藤本・田中)

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-1 塩崎ビル 7F

TEL : 03-5211-7700 FAX : 03-5211-7705

E-mail: [js.jinzai@roushikyo.or.jp](mailto:js.jinzai@roushikyo.or.jp)

URL : <https://www.roushikyo.or.jp/> ※左記 URL より Web 申し込みが可能です。

# 全国老人福祉施設協議会

## 令和3年度

# 自然災害発生時における 事業継続計画 (BCP) ひな形と参考動画の公開

近年激甚化する自然災害や感染症拡大等の危機的状況に対応し、重要事業を継続するための事前準備のひとつとして、事業継続計画 (BCP) の重要度が増しており、令和3年度介護報酬改定において、事業継続計画の策定が義務付けられました (令和6年3月31日までは努力義務です)。

本会は、社会福祉施設等の防災力の向上と復旧・復興への長期的な支援体制の確立を図るため、事業継続に必要な事項を定めた、自然災害発生時における事業継続計画 (BCP) のひな形資料と、事業継続計画 (BCP) の作成のポイントを解説する参考講義動画をあわせて、全国老協ホームページにて一般公開することといたしました。

公開形式 ▶ 資料の公開と動画の配信

視聴費 ▶ 無 料

### 事業継続計画 (BCP) ひな形資料

自然災害発生時における事業継続計画 (記載例)

### 講 義 (動画)

事業継続計画 (BCP) 作成のポイント

-より、現実性のあるBCPを作るために、優先順位を考える-



講 師

びわこ学院大学 学部長 教授  
一般財団法人 烏野財団 代表理事  
烏野 猛 氏

お申し込みの必要はございません。  
無料動画と資料を全国老協ホームページにて**一般公開**いたします。

<https://www.roushikyo.or.jp/>



お問い合わせ先



公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 事務局 〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-1 塩崎ビル7階  
TEL: 03-5211-7700 FAX: 03-5211-7705 E-mail: js.saigaitaisaku@roushikyo.or.jp



# 介護の魅力を15秒以内で 伝えてみませんか

ショート動画を募集中!



スマホから  
簡単に応募  
できます

1

お手持ちのスマホで  
15秒以内の動画を縦構図で撮影

2

QRコード先の応募フォームより  
必要事項を入力の上、ショート  
動画を投稿



※介護現場の日常や、職員・利用者の皆さまの特技  
など介護の魅力を15秒以内で伝えていくものであ  
ればどんな内容でもOK!

※応募された動画は、審査を行った上で全国老施協  
が運営を行う、高齢者福祉・介護の感動や魅力を  
伝えるための映像配信を行っている公式YouTube  
チャンネル（老施協チャンネル）に掲載される予  
定です。

～応募キャンペーン実施中～

抽選で100名様に、QUOカード300円分が当たります

募集  
期間

2022.3/31

木 まで

たくさんの  
ご応募お待ち  
しています!



注意事項

●応募作品の著作権は公益社団法人全国老人福祉施設協議会に帰属し、本会が運営を行うYoutubeチャンネルにて、PRなどの介護サービスおよび介護従事者のイメージアップ、社会的評価向上のための広報活動事業に使用させていただきます。あらかじめご了承ください。●応募作品は返却いたしません。必要の方はコピーをおとりください。●応募作品・抜写体のあらゆる権利（特に肖像権）に関して、主催者は一切の責任を負いかねます。応募に関しては、必ず抜写体・写真の著作権および著作権者の了承を得てください。●応募に関する個人情報、個人情報保護法に則った管理の上、応募作品の評価、当選者への連絡、応募者名簿の管理、動画サイトへの掲載、広報活動へのご協力を依頼する目的以外には使用いたしません。●応募作品に使用する映像・音楽は、著作権処理が必要ないものを使用するか、必要な処理手続きが済んだものを使用してください。●応募作品は、動画投稿サイトへの掲載（第三者提供）を予定しておりますので、応募に際しては、第三者提供について抜写体の了承を得てください。●応募作品に関して第三者の権利の侵害が認められた場合、応募者本人がその責任を負うこととし、公益社団法人全国老人福祉施設協議会は一切対応いたしません。

公益社団法人全国老人福祉施設協議会

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-7-1

塩崎ビル7階

TEL:03-5211-7700 FAX:03-5211-7705

Mail js.jimukyoku@roushikyoku.or.jp

令和3年度



# 社会福祉法人会計基準実践的基礎講習 開催要項

## ～正しい理解と運用を～会計実務担当者のスキルアップ！

### —開催趣旨—

平成29年度より完全施行となった改正社会福祉法の成立に伴い、従来、厚生労働省局長通知として、その取り扱いが示されていた社会福祉法人会計基準については、社会福祉法人に求められる公益性、非営利性に鑑み、規範性を持たせた会計基準省令として示され、平成30年3月20日の最終改正において新勘定科目及び表示方法について若干の追加がなされています。

また、平成30年6月の財務諸表等電子開示システムにおける社会福祉充実残額算定シートにも若干の改正事項がありました。

これらの基準に則った会計処理を行うため、法人の会計実務担当者には社会福祉法人制度への理解が必要とされます。本講習では、社会福祉法人制度の概要や会計実務上留意すべき特徴など、会計実務担当者がおさえておくべき知識・スキルを身につけていただくことを目的としています。

### 研修動画 Web 配信のお知らせ

本研修はインターネット環境と動画を閲覧できる端末があれば、**期間内は何度でもご視聴いただける**研修となっております。是非この機会に Web でのご受講をご検討ください。

1 **主催** 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

2 **開催形式** 動画配信

- ・ お申込者の方には申込後3営業日以内を目処に、受講案内と請求に関するご連絡をお送りいたします。
- ・ 配信予定日以降、受講費のご入金を確認できた方から研修動画視聴のための URL をご連絡いたします。

3 **申込期間** 令和3年12月6日(月)～令和4年3月4日(金) 予定

4 **配信期間** 令和3年12月10日(金)～令和4年3月11日(金) 予定

5 **受講費** 会 員 : 8,000円 / 非会員 : 16,000円

6 **受講対象** 経理経験1年～3年程度の方  
※税理士、公認会計士及びコンピューターシステム会社等の関係者の参加はご遠慮ください。

7 **申込方法** WebまたはFAXでのお申し込みが可能です。下記いずれかの方法でお申し込みください。

**Web 申込** 全国老施協ホームページの該当入力画面からお申し込みください。  
**(※全国老施協会員の方は、必ず会員ログインのうえご購入ください。)**  
申込内容の変更や参加取消を行いたい場合は、【10】問い合わせ先までご連絡ください。

**FAX 申込** 別紙「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、FAXにてお申し込みください。変更・参加取消の際は「参加申込書」に上書き訂正の上、FAXにてご連絡ください。

※配信開始日以降の受講費のご返金は原則として対応いたしかねます。

※配信開始日の前日までに申込み取消のご連絡を頂いた場合、受講費のお振込は必要ありません。

時間	内容
30分	<p>開会挨拶・基調報告</p> <p style="text-align: right;">公益社団法人全国老人福祉施設協議会</p>
計約8時間	<p><b>I. 社会福祉法人会計の基礎 (約 120 分)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会福祉法人会計の特徴</li> <li>2. 計算書類の解説             <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書の各内容解説</li> <li>・計算書類間の関係性の理解</li> </ul> </li> <li>3. 資金収支計算書と事業活動計算書の違い</li> </ol> <p><b>II. 日常会計処理のポイント①収入処理 (約 60 分)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護サービスの概要</li> <li>2. 介護保険事業の収入処理</li> <li>3. その他の老人福祉事業（養護老人ホーム・軽費老人ホーム）の収入処理</li> <li>4. 補助金・寄附金関連の処理</li> </ol> <p><b>III. 日常会計処理のポイント② 支出処理 (約 80 分)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人件費（給与・法定福利費・退職給付費用等）</li> <li>2. 事務費・事業費（各支出科目の注意点）</li> <li>3. 共通経費の按分の考え方と事例</li> </ol> <p><b>IV. 経理規程の重要性 (約 55 分)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経理規程の内容確認と重要ポイントの解説 （帳簿組織・会計伝票・予算の必要性・出納・寄附金の取扱い・現預金管理・固定資産管理など）</li> </ol> <p><b>V. 固定資産に関する会計処理 (約 90 分)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 固定資産の会計処理（取得時・廃棄時・移管時）</li> <li>2. 減価償却費の計算</li> <li>3. 国庫補助金等特別積立金の基礎知識</li> <li>4. 資本的支出と修繕費（施設の大規模改修・修繕に関する会計処理）</li> <li>5. リース会計の基礎</li> <li>6. 固定資産の管理</li> </ol> <p><b>VI. 月次会計処理の流れ (約 35 分)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 月次会計処理時のチェックポイント</li> <li>2. 書類の整理・保存のポイント</li> </ol> <p style="text-align: right;">株式会社川原経営総合センター 経営コンサルティング部門 統括補佐 森田 敏史 氏</p>

## 9 個人情報の保護について

お申込により知り得た個人情報（氏名、住所、連絡先等）については、個人情報保護法に基づき、研修運営業務（参加者の管理、参加者への連絡、請求書の送付等）以外には使用しません。

## 10 問い合わせ先

公益社団法人全国老人福祉施設協議会（担当：田中・中村・大和田）  
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-1 塩崎ビル 7F  
TEL：03-5211-7700 FAX：03-5211-7705  
E-mail: js.kenshu@roushikyo.or.jp  
URL：http://www.roushikyo.or.jp/ ※左記 URL より Web 申し込みが可能です。

**令和3年度 社会福祉法人会計基準実践的基礎講習****受講申込書**

- ※ ご案内を確認の上、すべての項目にもれなくご記入又は〇印をお付けください。
- ※ 会員番号がご不明の際は、全国老施協事務局までお問い合わせください。
- ※ お申込により知り得た個人情報（氏名、住所、連絡先等）については、個人情報保護法に基づき、研修運営業務（参加者の管理、参加者への連絡、請求書の送付等）以外には使用しません。

都道府県	会員有無	〇印をおつけください⇒ 会員 ・ 非会員									
	会員番号										
施設名											
施設所在地 (受講案内送付先)	〒 ー ※郵便番号・住所は正確にご記入ください										
TEL	TEL:					FAX:					
フリガナ	フリガナ		視聴用 URL 連絡先 e-mail アドレス								
参加者氏名	役職又は職種		※ メールアドレスの記入に誤りがあると、視聴用 URL のご案内が お手元に届かない可能性があります。メールアドレスはブロック体で わかりやすくご記入ください。 ※ o(オー)と0(ゼロ)や - (ハイフン) と _ (アンダーライン)、 l (エル) と 1 (イチ) 等の区別が付くようご記入ください。								
受講費用	会員 8,000円 ・ 非会員 16,000円										
備考欄	※FAXにてお申込みの方は内容に変更・取消が発生した場合は、その旨こちらにご記入の上再度FAXにてお送りください。										

**【問合せ先】**

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 事務局（担当：田中・中村・大和田）

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-1 塩崎ビル 7階

TEL：03-5211-7700 FAX：03-5211-7705 E-mail: js.kenshu@roushikyo.or.jp

URL：http://www.roushikyo.or.jp/ ※左記 URL より Web 申し込みが可能です。

**お申込締切日：令和4年3月4日（金）**

JS 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

令和3年度

全国老人福祉施設  
研究会議

# 鹿児島 会議

写真協力：公益社団法人 鹿児島県観光連盟

写真協力：公益社団法人 鹿児島県観光連盟

## 介護新時代への船出

～現場革新と科学的介護の実現～

開催期日

令和4年 1月13日(木)～3月31日(木) (オンデマンド配信期間を含む)

開催地

鹿児島県鹿児島市 (川商ホール (鹿児島市民文化ホール) 他)

主催

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会  
一般社団法人 鹿児島県老人福祉施設協議会

後援

厚生労働省、鹿児島県、鹿児島市  
社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会

参加対象

- ① 全国老協会員施設・事業所の役員及び職員等
- ② 老人福祉・介護事業に関わる行政、社会福祉協議会の役員及び職員
- ③ その他本会が認めた者

参加費

会 員：6,000円(税込)  
非会員：12,000円(税込)

写真協力：公益社団法人 鹿児島県観光連盟

# 介護新時代への 船出



～現場革新と科学的介護の実現～

## 趣旨

現在、日本における少子・高齢化の進展や人口減少は、過疎化による地方の衰退をもたらすほか、現行の年金制度や医療・介護制度の方向をも左右する大きな社会問題となっています。

さらに、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、全世界にパンデミックを起こしています。日本でも感染者数の増加と減少を繰り返し、未だに収束の兆しが見えていないのが現状です。

そのような中、2021年の介護報酬改定は、新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中で、「感染症や災害への対応力強化」「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止の取組の推進」、「介護人材の確保・介護現場の革新」、「制度の安定性・持続可能性の確保」を5つの柱としそれぞれの方向性を示し、前回の改定率を上回る0.7%のプラス改定となりました。

また、サービスを出来るだけ科学的に評価するための情報システムの活用として「LIFE(科学的介護情報システム)」の運用も開始されました。これは、より質の高いサービス提供を推進するために、介護そのものの概念を「ICTを活用した人と人との関わり」に客体化させていく、言わばいかに私たちが「科学的介護」への取組みを進めるかが問われています。

さらに、私たちは介護・福祉分野の人材不足等の現状を踏まえながら、今後の介護サービス需要の伸びに対応しつつ、科学的介護を基に効果的、効率的で持続可能性の高い、よりドラスティックな介護提供体制の構築を目指し、邁進しなければなりません。

こうした多種多様な課題への解決策を見出すべく、実践事例や研究成果を全国の仲間と共有し、共に学ぶことが、これから迎える新時代をより良いものに変えていく重要なきっかけとなります。

先人の成功者の言葉に学ぶとすれば、「新しい発想を得ようと思うなら、まず誰かに話を聞け」と本田宗一郎氏。また、イチロー氏は、「メジャーリーガーの凄いところは、一度『あ、すごい選手だ』と認めたら、2500本もヒットを打っている選手でも聞きに来ます。それが偉大な点ですね」と言っています。これらの教えを見習い、私たちは互いの努力や成果を持ち寄って、次の時代へと繋がる新しい知識を共有していくことが大切です。

令和3年度全国老人福祉施設研究会議(鹿児島会議)は、私たち一人ひとりが高齢者福祉の担い手として志を一つとし「共に学び、共に新時代を切り拓くべく」開催するものです。

# 1/13

木 18日

※感染症の流行状況によっては無観客での開催等、開催方法が変更となる場合がございます。

## 全体会プログラム

(ライブビューイング同時開催)  
※後日オンデマンド配信

11:30 12:30 13:00 13:30 13:50 14:10 14:20 15:30 17:00 17:10

受付	オープニング アトラクション	開会式典	基調報告	中央情勢 報告	休憩	記念講演 (1)	記念講演 (2)	次期開催県 挨拶
----	-------------------	------	------	------------	----	-------------	-------------	-------------

全体会場

川商ホール(鹿児島市民文化ホール)

〒890-0062 鹿児島県鹿児島市与次郎二丁目3番1号

- 11:00 開場
- 11:30 受付開始
- 12:30～12:50 オープニングアトラクション 「TEAM KAGOSHIMA」
- 12:50～12:57 「介護士さん音頭」 歌手 さつま たけと氏
- 13:00～13:30 開会式典
- 13:30～13:50 基調報告 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 会長 平石 朗
- 13:50～14:10 中央情勢報告 参議院議員  
公益社団法人全国老人福祉施設協議会 常任理事 そのだ 修光
- 14:10～14:20 休憩
- 14:20～15:30 記念講演 「断捨離「引き算の解決法」～住まいと心のガラクタさようなら～」

一般財団法人「断捨離®」代表 **やました ひでこ氏**

断捨離提唱者  
ミリオンセラー作家  
一般財団法人「断捨離®」代表

学生時代に出逢ったヨガの行法哲学「断行・捨行・離行」に着想を得た「断捨離」を日常の「片づけ」に落とし込み応用提唱。誰もが実践可能な「自己探訪メソッド」を構築。  
断捨離は人生を有機的に機能させる「行動哲学」と位置づけ、空間を新陳代謝させながら新たな思考と行動を促すその提案は、年齢、性別、職業を問わず圧倒的な支持を得ている。  
『断捨離』をはじめとするシリーズ書籍は、国内外累計600万部ミリオンセラー。アジア各国、ヨーロッパ各国において20言語以上に翻訳されている。



※「断捨離」はやましたひでこ個人の登録商標であり、無断商業利用はできません。

- 15:30～17:00 記念講演 「介護に携わる君たちへ、君たちに望むこと」 事前収録

医療法人真正会・社会福祉法人真正会 理事長 **齊藤 正身氏**

略歴  
昭和31年生まれ  
1983年 帝京大学医学部卒業  
1985年 埼玉医科大学附属病院入局(放射線科および第3内科研修)  
1988年 医療法人真正会 霞ヶ関中央病院入職  
1990年 医療法人真正会 霞ヶ関南病院 病院長就任(2010年まで)  
2000年 社会福祉法人真寿会(2019年 社会福祉法人真正会に名称変更)理事長就任(現職)  
2002年 医療法人真正会 理事長就任(現職)



主な社会活動  
日本リハビリテーション病院・施設協会 会長  
全国デイ・ケア協会 名誉会長  
厚生労働省社会保障審議会介護保険部会 臨時委員(歴任)など

主な著書  
『医療・介護に携わる君たちへ』(幻冬舎)など

- 17:00 次期開催県挨拶

# KAGOSHIMA2021

分科会	テーマ
第1	<p><b>伴走型介護の追究</b> —(コロナ禍)その人らしい人生を支える科学的ケアの実践—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 認知症ケア</li> <li>▶ 自立支援介護(ADL・QOL向上)</li> <li>▶ 常食化への取り組み</li> <li>▶ 医療・介護の連携</li> <li>▶ 記録の活用とアウトカム評価</li> <li>▶ 看取り介護</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 医行為(咳痰吸引、経管栄養等)</li> <li>▶ 機能訓練(リハビリテーション)</li> <li>▶ 口腔ケア</li> <li>▶ 個別ケアの実践</li> <li>▶ 非常時における介護の挑戦(感染症・災害等)</li> </ul>
第2	<p><b>2040年に向けた特別養護老人ホームの進化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 社会福祉法人戦略(経営・運営)</li> <li>▶ 地域における公益的な取り組みの実践</li> <li>▶ 財務分析による経営の合理化・適正化</li> <li>▶ 既存の社会資源との連携や広報戦略</li> <li>▶ 効果的な人員配置の工夫や ICT による業務効率化と経営改善</li> <li>▶ 地域共生社会の実現に向けた取り組み</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 地域資源の利活用(校舎跡地活用事業など)</li> <li>▶ 医療・介護の連携による協同組合の活用による経営の効率化</li> <li>▶ 地域医療介護総合確保基金を活用した事業展開</li> <li>▶ 小規模法人のネットワーク化事業による経営効率化</li> <li>▶ 社会福祉法人の利用者負担軽減の取り組み</li> <li>▶ 災害対策、コロナ対策</li> </ul>
第3	<p><b>2040年を見据えた人材採用・育成・定着戦略とコロナ禍での対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ コロナ禍での介護人材採用戦略</li> <li>▶ コロナ禍での介護人材育成と定着</li> <li>▶ コロナ収束後を見据えた人材確保</li> <li>▶ 潜在介護福祉士の復職支援</li> <li>▶ 働き方改革とアクティブシニア</li> <li>▶ コロナ禍における外国人介護人材の4種の受け入れ制度の課題と対応</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 外国人介護人材定着への課題と対応</li> <li>▶ 従事者の働きやすい環境づくり</li> <li>▶ モチベーションにつながるキャリアパスの形成</li> <li>▶ 人事考課・ロボット導入による業務効率化</li> <li>▶ 外国人材の活用</li> </ul>
第4	<p><b>地域包括ケア・地域共生社会を支える在宅サービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ICT・LIFE 導入への取り組み</li> <li>▶ コロナ禍におけるサービスの展開</li> <li>▶ 過疎地域におけるデイの生き残り戦略</li> <li>▶ 健康寿命延伸に向けた重度化予防・改善に向けた取り組み</li> <li>▶ 地域支援事業による地域貢献や認知症予防</li> <li>▶ 在宅での効果的なサービスの展開</li> <li>▶ 多職種協働による機能訓練の充実</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 地域での栄養ケアの実態とフレイル予防</li> <li>▶ 認知症ケアや医療依存度の高い方へのケア</li> <li>▶ 自立支援・ADL 改善やICFに基づくケア</li> <li>▶ 共生型サービス・保険外サービスの展開</li> <li>▶ 「通いの場」、「生きがい」づくりと社会参加への取り組み</li> <li>▶ 地域包括支援センター・居宅介護支援事業所の展開</li> </ul>
第5	<p><b>新しい入居者像を見つめた軽費・ケアハウスの展開</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 変わる利用者像と新しいサービスの実践</li> <li>▶ ICT 化への導入と新たな取組</li> <li>▶ 特定施設入居者生活介護の経営と LIFE の活用</li> <li>▶ 入居者の健康寿命の延伸・フレイル予防</li> <li>▶ 「通いの場」、「生きがい」づくりと社会参加への取り組み</li> <li>▶ 食べる楽しみと栄養改善に向けた取り組み</li> <li>▶ 認知症ケア</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 被虐待高齢者など緊急時の受け入れ</li> <li>▶ 重度者への対応や医療との連携</li> <li>▶ 入居者の確保に関する取り組みや広報戦略</li> <li>▶ 入居者による支え合い(エンパワメント)や地域へのアウトリーチ</li> <li>▶ 地域支援事業による地域貢献や認知症予防</li> <li>▶ 生活困窮者自立支援法等に関する取り組み</li> </ul>
第6	<p><b>“福祉”を届けるべき人々への包括的な支援と持続可能な養護老人ホームの経営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 新型コロナウイルス感染症への対応</li> <li>▶ 特定施設入居者生活介護における LIFE の活用</li> <li>▶ ICT 活用の取り組み</li> <li>▶ 契約入所の取り組み</li> <li>▶ 高齢者の住まい確保に関する取り組み</li> <li>▶ BCP(自然災害・感染症)の策定と具体的な取り組み</li> <li>▶ 入居者の健康寿命の延伸・フレイル予防</li> <li>▶ 通いの場・生きがいづくりや地域移行・中間的就労の取り組み</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 食べる楽しみと栄養改善に向けた取り組み</li> <li>▶ 認知症ケア、高齢障害・精神障害・慢性疾患(難病を含む)の方への対応</li> <li>▶ 介護サービスや一般型特定施設の経営</li> <li>▶ 老朽化・大規模修繕等の取り組み</li> <li>▶ 入居者による支え合い(エンパワメント)、地域へのアウトリーチ</li> <li>▶ 生活保護や生活困窮者自立支援法等に関する取り組み</li> <li>▶ 地域定着支援センターや矯正施設等との連携</li> </ul>
先駆的特別報告	<p>※老施協総研調査研究助成事業対象者による先駆的特別報告</p>

## 2

## 分科会プログラム(完全オンデマンド配信)

## ○ 実践研究発表(1発表15分)

## ○ 研究者による先駆的特別報告(1報告30分)

※ 老施協総研調査研究助成事業により実施した研究事業を報告します。

報告 1	ICTシステムを用いた多職種による遠隔モニタリングがもたらす食支援業務の質向上および効率化に関する実証研究 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 口腔保健支援学分野 教授 尾崎 和美 氏
報告 2	医師とつながる機能を有する多職種連携医療介護情報共有システムの導入による業務改善と負担軽減の検証 社会福祉法人 山彦会 理事長 櫻井 博規 氏
報告 3	伴走型介護の概念に基づいたQOL向上のための生活プログラム自動生成・実施結果データベース化システムの実用化と実証実験 東海大学 情報理工学部 コンピュータ応用工学科 教授 浅川 毅 氏
報告 4	見守りセンサーとコミュニケーションロボットの連携検証 ー見守り・コミュニケーションのバックアップロボットー 社会福祉法人 青森社会福祉振興団 理事長 中山 辰巳 氏
報告 5	主任層のリーダーシップ行動が介護職の就労継続意識に及ぼす影響 ー従来型・ユニット型施設別のリーダー養成システムの構築に向けてー 西南学院大学 人間科学部 准教授 田中 康雄 氏
報告 6	介護職員が行う標準化された口腔ケアの入院予防効果および医療費削減効果の検証 ー口腔ケアの科学的介護への確立に向けてー 株式会社クロスデンタル CEO クロスケアデンタルクリニック 院長 瀧内 博也 氏
報告 7	高齢者施設における「赤外線見守りシステム+介護コミュニケーションロボット+生体センサー」導入が夜間介護業務改善に及ぼす効果の検討 社会福祉法人東京聖新会 フローラ田無 施設長 尾林 和子 氏
報告 8	眠りSCANの活用による業務改善とユニットケアの確立 ー適切なアセスメントからその人らしさを支えるチームアプローチの確立をー 社会福祉法人 緑風会 介護老人福祉施設ふるさと那賀 施設長 井馬 美智代 氏
報告 9	介護ロボット(AIによる言語解析)開発による介護記録記載の負担軽減への取り組み ー更なる音声認識率の向上を目指してー 社会福祉法人 野の花会 アルテンハイム加世田 法人本部 楠元 寛之 氏
報告 10	外国人介護職員の安定的・継続的な就労に向けた調査研究 東京福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 講師 熊谷 大輔 氏
報告 11	認知症の人の意思決定支援にかかわる人々の支援の現状と課題 東都大学 幕張ヒューマンケア学部 看護学科 講師 内野 良子 氏
報告 12	新型コロナウイルス禍における特別養護老人ホームの経営のあり方と経営指標の開発に関する調査研究 早稲田大学 人間科学学術院 准教授 松原 由美 氏
報告 13	特別養護老人ホームにおける感染対策に関する調査研究および感染対策の手引きの開発 ー新型コロナウイルス感染、インフルエンザ感染、ノロウイルス感染に焦点をあててー 日本赤十字豊田看護大学 看護学部看護学科 在宅看護学 講師 松田 優子 氏
報告 14	中小社会福祉法人が介護職の新卒採用において成果を上げるために有効な対策とは 社会福祉法人 昴 統括事務長 松本 清一 氏

## ○ 特別報告(1報告30分)

※各分科会(分散会)のテーマごとに、有識者等による特別報告を行います。

# 実践研究発表の発表者募集

参加・発表申込 web サイトからお申込ください

全国老人福祉施設協議会では、令和3年度全国老人福祉施設研究会議（鹿児島会議）の実践研究発表を募集致します。日ごろ皆さんの施設で取り組まれているケアを客観視して、数値化・言語化し、理論・根拠に基づいたケアとしてご発表下さい。

※今年度の実践研究発表はすべて Web 上にて実施いたします。

## 実践研究発表 応募の流れ

1

Web サイトでの  
新規ユーザー登録

2

研究会議への  
参加申込

3

実践研究  
発表申込

締切11月19日(金)まで(参

※申込締切以降の発表申込並びに抄録原稿

### ◆抄録原稿の提出について

- ① 発表内容が法律違反といった事がないよう、事前に発表者の責任で確認を行ってください。また、現在規制されているが、利用者のために必要といった内容については、規制緩和・制度提案の形で積極的にご発表ください。
- ② 利用者の氏名・写真等を掲載する場合、個人情報保護法の観点から、必ずご本人またはご家族の承諾を得てください。
- ③ 抄録原稿の提出は、参加・発表申込 web サイト上へのアップロードをお願いいたします。  
<http://www.arrow-tourist.jp/>  
(参加・発表申込ウェブサイト)  
・本システムでは①新規ユーザー登録（メールアドレスやパスワード等の情報登録）②研究会議参加申込③実践研究発表申込④抄録原稿ファイルアップロード⑤発表動画データファイル&発表データファイルアップロードの手順で行っていただけます。  
・ログインに必要なメールアドレスとパスワードは、大切に保管してください。
- ④ 研究会議終了後、全ての発表者の抄録原稿を全国老施協ホームページで公開します。

### 1 抄録原稿の書き方

※以下、書き方の注意事項を必ず守ってください

- ① 様式：全国老施協ホームページまたは、参加・発表申込 web サイト上から「抄録原稿テンプレート(様式)」をダウンロードできます。<https://www.roushikyo.or.jp/> (全国老施協ホームページ)
- ② 抄録原稿は 1 発表（演題）1 ページです。図や表を使用する場合も 1 ページ内に収めてください。
- ③ 抄録原稿は手書きではなく、必ずパソコンを用いてください。
- ④ 用紙は、A4 サイズ、白黒印字、文字の大きさは9ポイント、2 段組（左右の 2 段）とし一行を全角 22 文字とします。行数は 1 段最大 34 行（1 段最大 748 字、2 段で約 1,496 文字）で校正してください。
- ⑤ 書体・字の大きさ、余白など、様式のページ設定を変更せずに、記載例にしたがって作成してください。
- ⑥ 取組みと最も関係あるキーワードを 3 つ、重要度順に必ず記載してください。
- ⑦ 本文は原則として<取組み課題><具体的な取組み><活動の成果と評価><今後の課題><参考資料など>で構成し、章の区切りにこれらの表題をセンタリング（中央揃え）で入れてください。
- ⑧ 箇条書きにできるところは、なるべく箇条書きでご記入ください。
- ⑨ 抄録原稿が期限までに提出されない場合、動画データのアップロードが完了しても発表の対象とはなりませんので、必ず期限までにご提出ください。

## ◆分科会での実践研究発表の発表者を次のとおり募集いたします

- ①応募資格：本研究会議の参加者であること **【発表者（共同研究者も含む）は必ず本研究会議へお申込ください】**
- ②発表件数：同一施設から複数のお申込みも歓迎いたします。  
なお、同一発表者の発表は一題に限らせていただきます。
- ③発表認定状：発表者全員（1発表につき1枚）に、全国老人福祉施設協議会より発表認定状を贈呈します。
- ④分科会発表評価：各分科会審査員により、特に優秀な発表を選出・表彰いたします。  
審査基準は、①企画力（取組みに対して研究方法が妥当であるか）、②発表力（発表自体に魅力的な工夫が凝らされ、質疑があった際に適切に対応できたか）、③応用力（発表内容が参加者にとって有益であり、幅広い施設・事業所においても同様の効果が得られるか）の観点から審査いたします。
- ⑤費用：参加費・資料作成費・郵送費等、各自のご負担となります。
- ⑥発表申込方法：本会ホームページ (<https://www.roushikyo.or.jp/>) から参加・発表申込 web サイトに移動し、申込を行ってください。※ FAX 申込不可
- ⑦発表数：**各分科会での発表題数に限りがあり、募集数が上限に達した場合は、申込みの先着順といたします。申込み状況については、全国老協ホームページ等にてお知らせいたします。また、申込状況・発表内容により、主催者の判断で分科会を変更いただく可能性がございます。**

4

抄録原稿ファイル  
アップロード

5

発表動画データファイル&  
発表データファイルアップロード

加・発表申込 web サイト)

・動画データの差し替えは受け付けません

### 2 発表データの作成について

- ① 抄録原稿とは別に、発表データを作成してください。
- ② データは **microsoft powerpoint 2007 以降のバージョン**とします。  
また、Mac 等で作成したデータは対応できません。
- ③ **最初と最後のスライドについては、指定の形式で作成してください。**（一部推薦演題は除く）  
（※指定の形式については、全国老協ホームページ (<https://www.roushikyo.or.jp/>) または、参加・発表申込 web サイト上の「実践研究発表動画作成マニュアル」からご確認ください）
- ④ スライド枚数に制限はございませんが、発表時間を踏まえ **15枚程度**が適当となります。（スライド1枚1分）
- ⑤ 研究発表は、介護従事者としての専門性を高めるためのものです。説明は客観的なデータを用いてください。
- ⑥ 発表用データは要覧には掲載致しません。文字やグラフは大きく、内容は簡潔で読みやすいものを推奨します。
- ⑦ 発表する研究や取組みが、調査研究中または継続中で、完了していなくてもかまいません。
- ⑧ 研究会議終了後、特に優秀な発表者の発表用データについては全国老協ホームページで公開します。

### 3 発表動画データの作成について

- ① 作成した発表データにもとづき、**Powerpointの記録機能を使用して**動画データを作成してください。
- ② PCのマイクあるいは外部マイクを使用して録音します。また、カメラの使用については発表者の任意となります。
- ③ 動画時間は **15分程度**で作成してください。なお、動画の編集は自由に行うことが可能ですが、編集のクオリティについては**審査の対象となりません**のでご了承ください。
- ④ 動画は「**フルHD (1080p) 完全高画質 (1920×1080)**」、また「**MPEG-4ビデオ (mp4)**」で保存してください。

※動画データ作成の詳細については、全国老協ホームページまたは参加・発表申込 web サイト上から「実践研究発表動画作成マニュアル」をご確認ください。<https://www.roushikyo.or.jp/>（全国老協ホームページ）

KAGOSHIMA2021

# 会場マップ

## 全体会会場「川商ホール（鹿児島市民文化ホール）」

〒890-0062 鹿児島県鹿児島市与次郎二丁目3番1号 TEL: 099-257-8111

出発地	所要時間
鹿児島空港から 鹿児島中央駅	鹿児島空港 ..... 鹿児島中央駅 (連絡バス/約38分)
鹿児島中央駅から 全体会会場	鹿児島中央駅 ..... 市民文化ホール前 ..... 川商ホール (鹿児島市営バス/約20分) (徒歩/約3分) (鹿児島市民文化ホール)



### 鹿児島市 (市外局番099)

地区	番号	会場名・ホテル名	電話番号
与次郎ヶ浜地区	①	鹿児島サンロイヤルホテル	253-2020
	②	アートホテル鹿児島	257-2411
天文館地区	③	ホテルニューニシノ	224-3232
	④	ホテル・レクストン鹿児島	222-0505

地区	番号	会場名・ホテル名	電話番号
鹿児島中央駅地区	⑤	JR九州ホテル鹿児島	213-8000
	⑥	ホテルアーピック鹿児島	214-3588
	⑦	シルクイン鹿児島	258-1221
城山地区	⑧	城山ホテル鹿児島	224-2211
会場	★	川商ホール(鹿児島市民文化ホール)	257-8111

第78回  
全国老人福祉施設大会  
オンライン開催  
山口大会

非営利の奉仕

テーマ

# 介護新時代への船出

～現場革新と科学的介護の実現～

**主催**

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会  
山口県老人福祉施設協議会

**後援**

厚生労働省、山口県、山口市  
社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
社会福祉法人 山口県社会福祉協議会  
社会福祉法人 山口市社会福祉協議会

**参加対象**

- ① 全国老健協会員施設・事業所の役員及び職員等
- ② 老人福祉・介護事業に関わる行政、社会福祉協議会の役員及び職員
- ③ その他本協会が認めた者

**参加費**

参加者1名あたり 12,000円 (税込)  
[会員:6,000円 (税込)]

**配信期間**

令和3年

令和4年

11/25(木)～3/31(木)

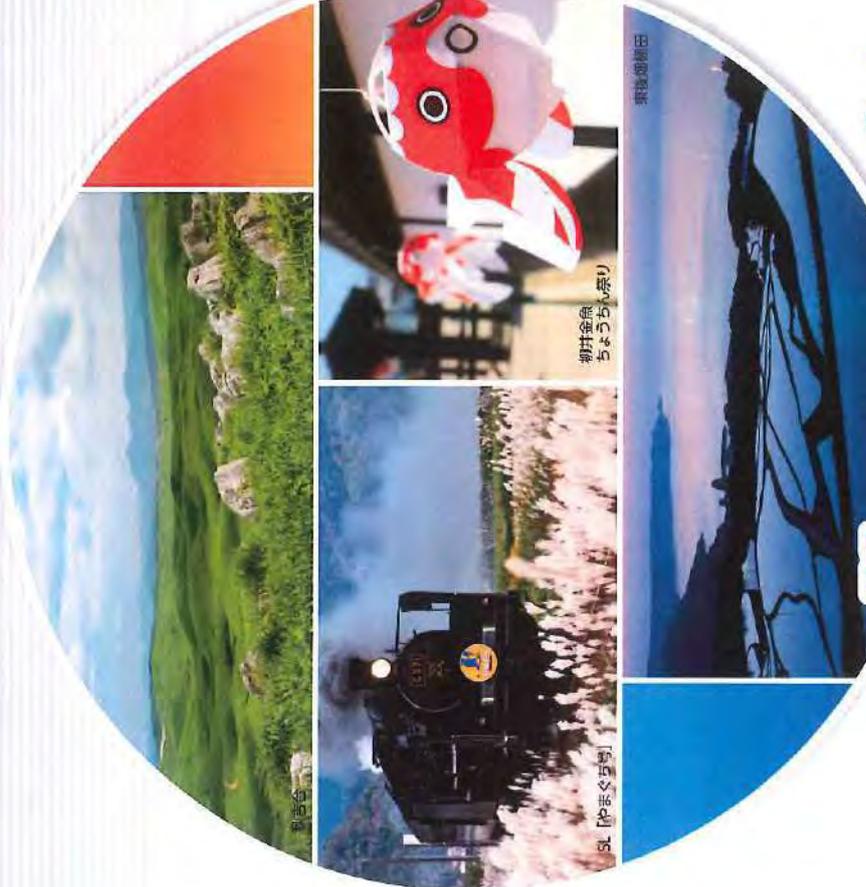
**開催地**

山口県山口市

(山口県産業交流拠点施設 多目的ホール 他)

**視聴方法**

全国老健協ホームページ上に、全国大会特設ページを設置予定です。  
視聴ID・パスワードを入力の上、ご視聴頂けます。



乳 [ゆまのまき号]

柳井金魚  
ちよつちん祭り

東海御前田

# Yamaguchi 2021

ON LINE

JS 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会  
老健協 (Japanese Council of Senior Citizens Welfare Service)

〒102-00113 東京都千代田区平河町2丁目7番1号 麹町ビル7階

TEL : 03-525-7800 FAX : 03-525-7805

E-mail : js.jimukyoku@roushikyoku.or.jp

ホームページアドレス <https://www.roushikyoku.or.jp>

# 介護新時代への船出

～現場革新と科学的介護の実現～

## 趣旨

現在、日本における少子高齢化の進展や人口減少は、過疎化による地方の衰退をもたらすほか、現行の年金制度や医療・介護制度の方向をも左右する大きな社会問題となっています。

さらに、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、全世界にパンデミックを起こしています。日本でも感染者数の増加と減少を繰り返し、未だに収束の兆しが見えていないのが現状です。

そのような中、2021年の介護報酬改定は、新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中で、「感染症や災害への対応力強化」を図るとともに、団塊の世代の全てが75歳以上となる2025年に向け、高齢者人口がピークとなる2040年も見据えながら、「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止の取組の推進」、「介護人材の確保・介護現場の革新」、「制度の安定性・持続可能性の確保」を5つの柱として、それぞれの方向性を示し、前回の改定率を上回る0.7%のプラス改定となりました。

私たちはこれまで、エビデンスを基盤とした「科学的介護」の実現に向け取組んできたこともあり、今回の改定は介護保険の目的である尊厳ある自立支援と介護サービスの質の向上に資する項目が多く含まれました。中でも、サービスをできるだけ科学的に評価するための情報システムの活用として「LIFE(科学的介護情報システム)」の運用も開始されました。これは、より質の高いサービス提供を推進するために、介護そのものの概念を「ICTを活用した人と人との関わり」に客体化させていく、言わばいかに私たちが「科学的介護」への取組みを進めるかが問われています。

さらに、私たちは介護・福祉分野の人材不足等の現状を踏まえながら、今後の介護サービス需要の伸びに対応しつつ、科学的介護を基に効果的・効率的で持続可能性の高い、よりドラスティックな介護提供体制の構築を目指し、邁進することが求められています。

第78回全国老人福祉施設大会(山口大会)は、今一度「介護・福祉」の多様な課題を見つめ、私たちの未来を力強く拓く意志を発信する場として開催するものです。

## 全体会

35分 開会式典

30分 行政報告

30分 基調報告

90分 記念講演

厚生労働省

公益社団法人全国老人福祉施設協議会 会長 平石 朗

有限会社ヒロカネプロダクション 代表取締役  
漫画家

### 弘兼 憲史氏



1947年、山口県生まれ。早稲田大学法学部を卒業後、松下電器産業(現パナソニック)に入社。のちに漫画家として独立し、1974年「風薫る」でデビュー。

横断的な海客が特徴で、「人間、社会」についての縦交差点」で小学館漫画賞(1984年)、「課長高耕作」で講談社漫画賞(1991年)、「黄昏流星群」で文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞(2000年)、このほか日本漫画家協会賞大賞(2003年)や紫綬褒章受章(2007年)を受賞。漫画以外の著作も多数。



30分

シンポジウム「新時代の介護」

公益社団法人全国老人福祉施設協議会 ロボット・ICT推進委員会

5分

永年勤続表彰 表彰者メッセージ

5分

大会宣言

10分

次期開催県挨拶

# 分科会

## 第1分科会

### 科学的介護の深化

～LIFE」と「認知症BPSDケアプログラム」の取り組み～

#### 趣旨

後期高齢者や認知症高齢者の増加、福祉・介護の担い手不足、財政的制約の高まりなどははじめとした、私たちを取り巻く社会環境の変化に伴い、質的・量的な介護ニーズも日々変化しています。その変化に的確に対応するには、介護業界の連携はもとより、行政、医療、学術研究機関、地域住民等のあらゆる関係者との協力が重要であり、現場革新と科学的介護の発展を促した、より高品質な介護サービスの創造が期待されています。

本分科会では、そのような介護新時代へのスタートアップとして、今まで蓄積してきた様々なエビデンスをこれからの介護に効果的に活かす、介護の質を高め、介護の新たな価値について、その可能性を考察していきます。同僚世代が後期高齢者となる2025年が目前に迫る中、現職から介護の質を高め、介護の新たな価値について、その可能性を考察していきます。同僚世代が後期高齢者となる2025年が目前に迫る中、更に先の2035年の社会に向けたビジョンと、その実現の一助として本分科会を開催いたします。

#### 企画

- 40分 情報報告 全国老協協老老協総研運営委員会 委員長 尾関 英浩
- 40分 講演 I LIFEの概要について 厚生労働省 老健局 老人保健課
- 50分 講演 II CHASE～LIFE 一輪車グリーンホーム介護現場・多職種連携の取り組み事例～ 社会福祉法人鈴鹿福祉会 鈴鹿グリーンホーム 施設長 服部 昭博氏
- 50分 講演 III コロナ禍における認知症の人や家族への支援について 国立法大広島大学 石井 伸弥氏
- 40分 講演 IV 認知症BPSDケアプログラムについて(仮) 東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター センター長 西田 淳志氏
- 70分 シンポジウム 認知症BPSDケアプログラム実施設の事例紹介(仮) 東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター センター長 西田 淳志氏

## 第2分科会

### 2040年に向けての特別養護老人ホームの在り方

#### 趣旨

少子高齢化・生産年齢人口の減少が深刻化する中、私たちはターニングポイントとなる2035年から5年連続をもって、高齢者がピークとなる2040年を見据え、あらゆる社会システムにおいて人口減少を前提とした改革が迫られています。

高齢者福祉・介護において「次世代へ継ぐべき価値」を創造するためには、科学的知見を推進し、生産性の向上やICT活用、医師との連携などを認識した改革をしなければなりません。

改革には、大きなエネルギーとマネジメント能力が必要です。皆様と共に2040年を見据え介護事業を構築して参りたいと思っております。本分科会を通して「未来型介護」を持って「国民の負担」にどう対応していくか、様々な角度から将来の未来像について一緒に考えてみましょう。

#### 企画

- 30分 情報報告 特別養護老人ホームの現状と果たすべき役割 全国老協協老老協等経営委員会特別養護老人ホーム部会 部長 石踊 紳一郎
- 60分 講演 I 収支状況等調査をフル活用した経営戦略～経営困難期の勝ち残り戦略とは～ 全国老協協老老協等経営委員会委員長/社会保険審議会介護給付費分科会委員 梶田 和平
- 50分 講演 II LIFE関連加算の解説 ①科学的介護推進体制加算・栄養マネジメント強化加算 ②個別機能訓練加算・ADL維持等加算 ③自立支援促進加算・口腔衛生管理加算
- 60分 講演 III 人口動態から考える今後の特養経営について(仮) 全国老協協老老協等経営委員会/社会保険審議会介護給付費分科会委員 小泉 立志
- 60分 講演 IV 医療事業の経営者から見た今後の特養・社会福祉法人経営について 産業医科大学医学部公衆衛生学教室 教授 松田 晋哉氏
- 30分 講演 V 介護報酬が非課税である根拠と特養経営者の責務 一般社団法人日本慢性期医療協会 会長 武久 洋三氏

～利用負担軽減制度の完全実施に向けて～  
全国老協協老老協等経営委員会特別養護老人ホーム部会 幹事 山田 淳子

## 第3分科会

### これからの介護を見据えた人材戦略

#### 趣旨

介護業界においては、現在、介護人材の確保・定着・育成の有効策を講じることが不可欠とされています。コロナ禍により、新しい生活様式が求められており、コロナ禍に対応した職場環境の整備が求められています。求職者に選ばれる、安心のできる業界への転換が急務課題となっています。具体的には、

①コロナ禍における介護施設の人材採用 ②コロナ禍での介護人材(外国人介護人材)育成と定着 ③科学的介護の進展に伴い、求められる人材像の変化への対応 ④ロボット・ICT等の活用による職員の負担軽減 ⑤福利厚待による人員配置に対応した人材の確保 ⑥海外介護福祉士の積極的な活躍 ⑦外国人介護人材や元高齢者からの受け入れによる業務分担と効率化の推進

等により、介護業界の信頼性と競争性を高めることが重要です。

国の政策を含めた上記2つの具体的な手法を念頭に、介護人材の確保・定着・育成に資するこれからの介護を見据えた人材戦略について、研鑽を固める場所を提供したいと考えております。

#### 企画

- 90分 行政報告 厚生労働省 社会・健康局 福祉基礎課長・福祉人材確保対策官(社会・健康局福祉基礎課福祉人材確保対策室長兼任) 宇野 植男氏
  - 60分 講演 I 特別養護老人ホームにおける人材確保の現状と今後について(コロナ禍の人材確保、長期的な人材確保の取組)(仮) 独立行政法人福祉医療機構 経営サポートセンター リサーチグループ グループリーダー 松本 庄平氏
  - 60分 講演 II 外国人介護人材定着の課題と対応(仮) 社会福祉法人晋栄福祉会 理事長 濱田 和則氏
  - 120分 シンポジウム これからの介護を見据えた人材戦略(仮) 独立行政法人福祉医療機構 経営サポートセンター リサーチグループ グループリーダー 松本 庄平氏
- ケアサポート株式会社 総務人事務部 人材育成課 課長 福留 孝一氏  
淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科 教授 藤野 達也氏  
全国老協協老老協等経営委員会 委員長 木田 二郎

## 第4分科会

### 地元の地域包括ケアとデイサービスの未来を考える

#### 趣旨

2025年に向けて高齢者福祉・介護ととるべき道は、地域包括ケアの構築と地域共生社会の実現という2つのビジョンによって明確に打ち出されています。また、今回の制度改正・報酬改定でも「自立支援・重症化防止の推進」と「科学的介護の推進」により評価されることとなりました。これからのデイサービスは、事業所が所在する地域の価値に合わせ、現場でそれらを支えるべく、どのように活用していくかが問われ、まさに「選ばれたデイサービス」としての競争が激化してきます。

介護に対するニーズも時代とともに新たなフェーズに入った今、「人材」「地域」「科学的」を融合させ、地元からなくなっていくと言われ続けるためのデイサービスの未来について研鑽を図ります。

#### 企画

- 30分 情報報告 全国老協協老老協等経営委員会 部長 波瀾 幸敏
- 60分 講演 I デイサービスにおける加算算定状況と算定のポイント 全国老協協老老協等経営委員会 幹事 小川 弥仁
- 60分 講演 II 地域包括ケア時代求められるデイサービスのあり方 ～デイサービス事業者が描くべきビジョンと「経営戦略」 株式会社ケアモンスター 代表取締役 田中 大信氏
- 30分 講演 III 小規模自治体・過疎地・僻地などのデイサービスを拓く法人・施設の経営戦略 社会福祉法人 阿武福祉会 介護福祉士 福田 大介氏
- 60分 講演 IV デイサービスにおける生産性向上と科学的介護の推進 ～働きがいのある現場を目指すことがLIFEの本質的活用を促進する～ 株式会社TRAPE 代表取締役 齋田 大智氏
- 60分 講演 V 通いの場戦略の限界とその先～総合事業/整備事業のこれから 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 共生・社会政策部長 主席研究員 岩名 礼介氏

## 第5分科会

### 新しい入居者像を見つめた軽費・ケアハウスの展開

**趣旨** 令和3年度の介護報酬改定では「地域型ケアシステムの推進」をはじめとした柱が打ち出され、軽費老人ホーム、ケアハウスにおいても、運営改正によりそれらへの対応が求められます。また、今後、さらなる少子高齢化が進む中で、軽費老人ホーム、ケアハウスの入居者の質は確実に変化していきます。従来の「延滞」や「サージ」発生だけでなく、高齢者の健康状態の悪化により一層深刻化していることが想定されます。本分科会では、そうした新しい入居者像を見つめ、地域共生社会における軽費老人ホーム、ケアハウスのあり方があるのか、どのような対応が求められているのか、軽費老人ホーム、ケアハウスの明るい未来と展望について、事例を語ります。

#### 企画

- 30分 情報報告** 全国老施設軽費老人ホーム・ケアハウス部会 部会長 藤井 陽子
- 60分 講演 I** 地域共生社会における養護老人ホーム・軽費老人ホーム・ケアハウスのあり方  
～令和2年度医療事業の調査研究事業を中心に～ 芝罘6分科会と共同プログラム 淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科 教授 結城 康博 氏
- 60分 講演 II (対談)** 地域共生社会の実現に向けた軽費老人ホーム・ケアハウスの現状と課題を踏まえつつ～  
～各施設種別における現状と課題を踏まえつつ～ 昭和女子大学 人間社会学部 福祉社会学科 教授/全国老施設理事 北本 佳子 氏  
全国老施設軽費老人ホーム・ケアハウス部会 委員 中川 勝喜 氏
- 30分 講演 III (対談)** 軽費老人ホームA型とケアハウスの実態～ケアハウスへの転換事例から～  
社会福祉法人緑水会 ケアハウス協会の泉 施設長 小佐野 進 氏  
全国老施設軽費老人ホーム・ケアハウス部会 部会長 藤井 陽子 氏
- 60分 講演 IV** ケアハウスで工夫している取り組みと入居者の変化  
～1年間で生活できる住まい(相談窓口の実践)から～  
フリーライター(元シニア住まい塾相談員) 栗原 道子 氏
- 60分 講演 V (事例発表)** ケアハウスにおける看取りと医療連携の最新動向～先進的取組と今後の展望～  
社会福祉法人昭徳会 ケアハウス高英女立 看護課 高井 里美 氏  
社会福祉法人仙台東一ース会 ケアハウス大宮 副施設長 大野 文 氏

## 第6分科会

### “福祉”を届けるべき人々への包括的支援と持続可能な養護老人ホームの経営

**趣旨** 養護老人ホームは、住環境や経済的な課題をはじめとした複雑な課題を抱える高齢者の生活を支援し続けている一方、地方分権による措置費の一部削減や介護保険制度により、入所対象者、措置額、養護老人ホームの三者において制度的な適応に困難を生じるケースも見受けられます。その中で、契約入所や地域共生事業など、養護老人ホームを取り巻く状況も変わりつつあります。こうした現状において、地域住民や入所対象者、措置額から今以上に必要とされる養護老人ホームを指向しつつ、定員割れや収支バランスの悪化の中で養護老人ホームをどう構築していくのか、現制度における現場の問題解決に向けた全国的な行動を模索すべく、研鑽を深めるものです。

#### 企画

- 45分 情報報告** 全国老施設養護老人ホーム部会 副会長 利光 弘文
- 60分 講演 I** 地域共生社会における養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウスのあり方  
～令和2年度医療事業の調査研究事業を中心に～ 芝罘5分科会と共同プログラム 淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科 教授 結城 康博 氏
- 60分 講演 II** 養護老人ホームの役割と事業継続の道徳  
～軽費高齢者受け入れの契機を踏まえて～  
西九州大学 健康福祉学部 社会福祉学科 准教授 江口 賢子 氏
- 45分 講演 III** 「ストップ措置控え」のためのアクションへ向けよう…  
～措置額調整調査3か年経過レポートより～  
全国老施設養護老人ホーム部会 幹事 平岡 敬 氏
- 30分 講演 IV** 契約入所の現状と今後の展望～契約入所のQ&A～  
全国老施設養護老人ホーム部会 副会長 林 武 氏
- 60分 講演 V (対談)** 「どうなるだろう」からの養護老人ホーム  
～現状の打開と未来(あしは)の対応～  
福祉経営学部 福祉経営学科 教授 清水 正美 氏  
全国老施設養護老人ホーム部会 部会長 利光 弘文 氏  
全国老施設養護老人ホーム部会 幹事 平岡 敬 氏

## お申込み方法



申込に関するお問い合わせはコチラ

TEL 03-3516-7813 株式会社サンケイ会館・山口大会運営事務局 高野・小此木・近野  
roushikyo-yamaguchitaikai@sankeibldg.co.jp

## 法律相談窓口（J Sリーガルサポート）の開設日のお知らせ

公益社団法人全国老人福祉施設協議会では、会員便益向上の観点から、弁護士による法律相談窓口（J Sリーガルサポート）を設置しております。相談窓口の開設日時や具体的な運用については以下のとおりですので、ご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

### （J Sリーガルサポートの利用）

- ・ J Sリーガルサポートを利用される場合には、原則として、毎週水曜日（祝祭日を除く）の14：00-17：00に以下の電話番号にお問い合わせください。

J Sリーガルサポートの電話番号：

0 3 - 5 2 1 5 - 7 7 2 5

### （2月の開設日時）

- ・ 下記日程での開設となります。（※一部、日程が原則と異なります）

令和4年2月	<u>3日(木)</u> 14：00～17：00 ， 9日(水) 14：00～17：00 16日(水) 14：00～17：00 ， <u>22日(火)</u> 14：00～17：00
--------	--

※ 担当弁護士は、宮澤潤法律事務所 長野 佑紀氏

### （留意事項）

- ・ J Sリーガルサポートの開設日時については変更となる場合があります。その場合は、JSweekly等により事前に周知いたします。
- ・ 相談内容については、例えば、介護事故に伴う損害賠償等の内容が考えられます。会員と直接関係が認められない相談内容はお受付いたしません。また、介護報酬の解釈・基準等に関する問い合わせについては、J SリーガルサポートではなくJSWEB110をご活用ください（下記参照）。

全国老施協 HP ⇒ マイページ ⇒ JSWEB110

- ・ J Sリーガルサポートの対象として無料法律相談が可能になるのは、1つの案件につき初回の法律相談に限られ、同一案件に関する2回目以降の法律相談についてはJ Sリーガルサポートの対象には含まれません。したがって、2回目以降の法律相談等を希望される場合には、各会員と弁護士との間での別途個別契約により御対応ください。
- ・ 同様に、同一拠点に複数の施設・事業所（以下、「施設等」という。）を有する法人に関しては、当該拠点内の1施設等が既に初回の法律相談を利用されている場合には、同一案件については、他の施設等は会員番号が異なる場合であってもJ Sリーガルサポートを利用できませんので、法律相談等を希望される場合には、各会員と弁護士との間での別途個別契約により御対応ください。

# 2時間単位の細切れシフト 多世代で多様な働き方

社会福祉法人さくらぎ会  
特別養護老人ホームこもれびの郷  
(東京都あきる野市)



理事長  
宮林大輔さん

施設内の全業務を105に分類し、業務習熟度や役割ごとに九つのランクに整理しました。これにより1日2時間単位の細切れシフトが可能になり、質の高いケアを提供するための研修システムも構築できました。採用形態では区別を設けていません。また「職員育成プロジェクト」のメ

ンバーが自分の働くフロアの職員を査定しています。個々の努力を目に見える形で評価しているため、やる気を引き出す効果があります。結婚、出産に伴って働き方の変更を希望する職員もいます。このようなニーズにも対応が可能となり、退職者を減らし、高い定着率を実現することにつながりました。

夜間の勤務は時給を上げて体力のある若者に担ってもらい、早朝や夕方方の勤務は施設から半径1キロ以内に住むアクティブシニア層の短時間パート職員の力を借りてこまぎれシフトを組んでいく。あらゆる世代の多様な働き方を組み合わせることで介護の現場は魅力的な職場に変わっていくはずですよ。

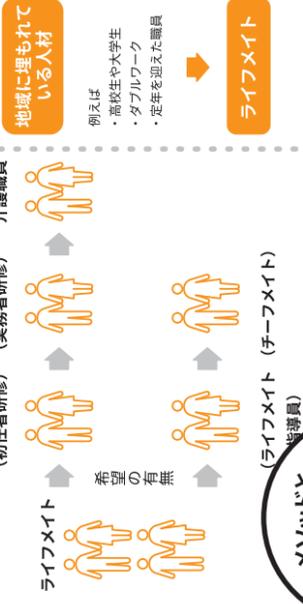
メンソッドと  
インフォの詳細は  
webで見ることができます

詳しくはこちら



## 和心 ライフメイトが秘める可能性

※和心の資料をもとに作成



メンソッドと  
インフォの詳細は  
webで見ることができます

詳しくはこちら



同時に雇用形態や年齢を問わず、ユニットごとに業務改善の提案を考えていく手法を採り入れました。多様な人が活動できる職場づくりが、これからの人材戦略のかぎでしょう。

ためほとんど辞めることがありません。介護職員から見た貢献度も高くなっています。得意分野で力を発揮してもらおうという考えから、各ユニットで働く職員全員で話し合い、ルーティンワークのほか、ライフメイトの性格や得意なことを考慮したうえで仕事を振り分けているからです。大学生がアルバイトでライフメイトを始め、介護の仕事に興味を持ち、正職員を希望するケースもできています。

施設長  
金子直浩さん

2018年に「ライフメイト」という家事援助を専門に行う新しい職種を導入しました。大学生、ダブルワーク、定年後の職員、アクティブシニアといった人材に目を向け、その人たちに働きやすい職場を提供するためです。現在16人のライフメイトがあり、満足度が高い

社会福祉法人ケアネット  
特別養護老人ホーム和心  
(神奈川県海老名市)



# 「介護」でなく「家事援助」 大学生メイトから正職員

【PR】

# 「自分ができる」がきつと見つかる これからのKAIGO

# 人手不足のトンネルに明かりが見えた 介護イノベーターたちの 働き方改革

介護事業所の人材不足感は依然として高いものの、すべての事業所で不足しているわけではありません。このシリーズでは、アクティブシニアの活用や多様な働き方を可能にするマネジメント改革に取り組むキーパーソンを「介護イノベーター」として取材し、メンソッドを語ってもらいました。

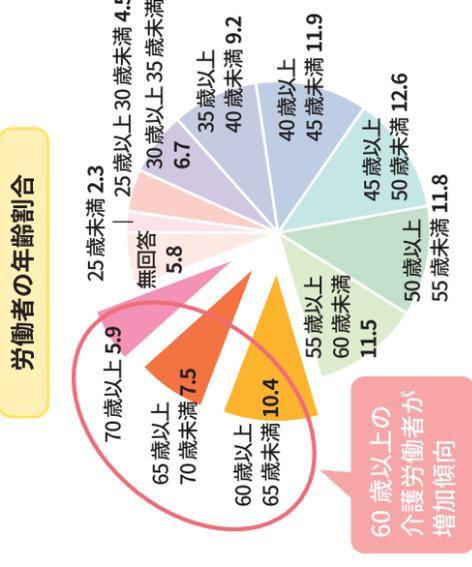
## 改革の裏側に見えた チームビルディング

介護事業所での人材不足感には、「介護労働実態調査」のうえでは2019年度2020年度の2連続で少しずつ改善傾向に向かっています。離職率は過去最低を更新し、60歳以上の労働者の割合が増加傾向にあります。「介護労働者の就業実態と就業意識調査」によると、前職を辞めた理由は、「結婚・妊娠・出産・育児のため」が25.0%で最も多く、次に「職場の人間関係に問題があっ

たため」が16.6%、「自分の将来の見込みが立たなかったため」が15.0%です。この中には、前職が介護・福祉・医療の人も多くおり、職場を変える理由が必ずしも「収入だけではない」ということがわかります。周辺業務をアクティブシニアに担ってもらった介護助手の制度導入が注目されがちですが、今回の取材で見えてきたのは、その裏側で多様な人たちが多様な形で働ける職場改革がありました。そのヒントをマネジメント層と職員が一

体となって考え、他の産業の就労経験から導き出している事業所もありました。制度導入がゴールではありません。雇用形態による区別なく、職場のメンバーのスキルや能力、経験などを最大限に引き出していくチームビルディングに取り組めるかが力を握っています。(岩崎賢一)

※本特集は令和3年度介護のしごと魅力発信等事業(ターゲット別魅力発信事業)として実施しています。(実施主体:朝日新聞社・厚生労働省補助事業)



※「令和2年度介護労働実態調査の結果」(事業所調査)を参考に作成  
※全国の事業所から18000事業所を無作為抽出にて選定。有効回答は9,244事業所(有効回収率は52.7%)

## 他にシリーズで取り上げた施設・団体 (丸数字は回)

- ② 全国介護事業者連盟
- ④ Sketter
- ⑤ 梅香の里
- ⑥ 東京都健康長寿医療センター研究所
- ⑦ カリタス有東
- ⑧ 健康・いきがい就業ラボ
- ⑨ やすらぎ苑
- ⑩ ソラスト

詳しくはこちら



なかまある これからの KAIGO 🔍 検索

聴講者募集中

# 介護の生理学 研究会

スケジュール(予定)

- 10:30 開会
- 10:40 講演  
「介護とは何か？」  
飯田大輔氏
- 11:50 各テーマの探求  
※途中昼休憩有り
- 15:25 審査員による  
トークセッション
- 17:00 審査員賞発表

オンライン開催 2022.2.19 sat. 10:30~17:30

*Physiology of  
Elderly Care*

## ケアの思考過程って？

介護は、利用者一人ひとりの生活に寄り添い、個人に適したケアを行うことが重要です。一方で、人間を生理学的にみると、人体の構造と機能は個人によらない部分が多く、より良いケアを行うためには、生物体としての人間の見方を獲得することも重要です。

たとえば、発熱への介護は、体熱の産生や放熱の仕組みを知らなければならぬし、排泄の介護は、直腸や肛門、尿道や膀胱の構造や仕組みを知ることが求められます。それを生活を整える実践につなげるために、歴史や文化など社会科学の視点も融合させることで、ケアの創意工夫とアイデアの幅がさらに広がり、介護の仕事の専門性と魅力を再認識する機会になると私たちは考えています。

「介護の生理学研究会」では、いくつかの介護行為について、生理学の視点からケアの実践に至るまでの思考過程について探求します。また、飯田大輔氏(社会福祉法人福祉楽団 理事長)による講演「介護とは何か？」や審査員によるトークセッションも行います。

### 聴講のお申込み

下記 URL または QR コードよりお申し込みください  
<https://forms.gle/77KidAaMwxnVVVHm8>



### 「介護の生理学研究会」

日時: 2022年2月19日(土) 10:30~17:30  
会場: オンライン(zoom)

・概要: 「生活の思考」介護を科学する情報サイト  
<https://think-life.net/event>



【主催】株式会社シルバーウッド [mstp@silverwood.co.jp](mailto:mstp@silverwood.co.jp) tel: 047-304-4003



厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

### 審査員



飯田 大輔  
社会福祉法人 福祉楽団  
理事長



金井 一薫  
ナイチンゲール看護研  
究所 所長



堀田 聡子  
慶應義塾大学大学院 教  
授(認知症未来共創ハ  
ブリーダー)



佐々木 淳  
医療法人社団悠翔会 理  
事長 / 診療部長



菊井 徹也  
一般社団法人高齢者住宅  
協会 副会長 (SOMPO ケア  
株式会社 取締役執行役員)



石田 路子  
高齢者社会をよくする女  
性の会 理事(介護給付  
費分科会委員)



松岡 宗嗣  
一般社団法人 fair 代表  
理事



下河原 忠道  
株式会社シルバーウッド  
代表取締役

コーディネーター